

2024 年 6 月

学生認識／行動調査2023

結果報告

学生支援センター

目次

調査の概要.....	2
回答率.....	2
1. 入学動機.....	3
2. 自己肯定感.....	6
3. 他学生および教職員との関係.....	9
4. 施設等満足度.....	12
5. 施設等への要望 [自由記述].....	17
6. 学修状況.....	21
7. 授業満足度.....	27
8. DP 達成度.....	33
9. 生活・心身の悩み・経済状況など.....	41
10. 本学への意見等 [自由記述].....	60

調査の概要

調査期間：2024年2月15日（木）～3月31日（日）

対象者：学部の1～4年生（休学者を除く）

調査方法：Google Formsを利用した（stアカウントからの回答に限定）。

学籍番号取得式による任意回答とした。

設問数：40問（選択式37問・自由記述3問）

回答率

<学科別回答者数・回答率>

学科	日本文学科	中国文学科	英米文学科	教育学科	書道学科	歴史文化学科	社会経済学科	現代経済学科	中国語学科	英語学科	日本語学科
対象者数	643	187	434	503	244	374	865	649	257	828	204
回答者数	61	9	28	34	26	52	41	38	13	57	19
回答率	9.5%	4.8%	6.5%	6.8%	10.7%	13.9%	4.7%	5.9%	5.1%	6.9%	9.3%

学科	法律学科	政治学科	国際関係学科	国際文化学科	経営学科	スポーツ科学科	健康科学科	看護学科	社会学科	全体
対象者数	918	599	425	336	1483	557	313	404	778	11001
回答者数	70	40	33	21	91	29	25	30	90	807
回答者率	7.6%	6.7%	7.8%	6.3%	6.1%	5.2%	8.0%	7.4%	11.6%	7.3%

※2023年度、環境創造学科の調査対象者数は0名。

<学年別回答者数・回答率>

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	全体
対象者数	2892	2665	2740	2704	11001
回答者数	346	194	142	125	807
回答率	12.0%	7.3%	5.2%	4.6%	7.3%

1. 入学動機

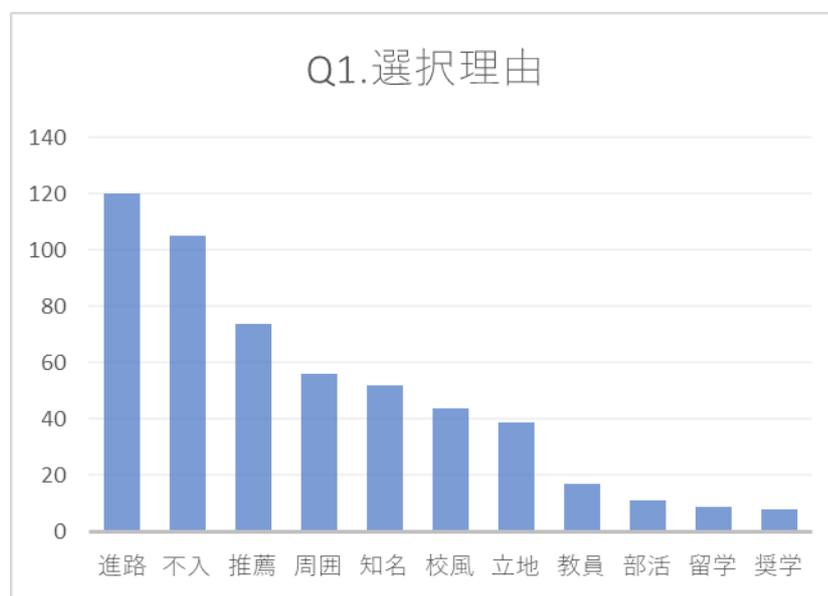
このセクションでは、Q1（入学動機）に関する部分について結果を報告する。

【入学動機】

Q1 1年生(2023年度入学生)のみ回答してください。本学に入学した理由は何ですか。(主なものを2つまで)

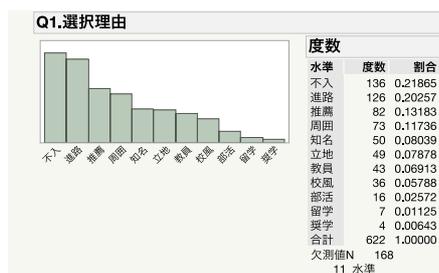
- ①校風 [校風]
- ②指導を受けたい教員がいた [教員]
- ③将来の希望進路に必要な勉強ができる [進路]
- ④知名度・注目度の高さ [知名]
- ⑤立地条件 [立地]
- ⑥親や先生など周囲のすすめ [周囲]
- ⑦推薦入試制度があった [推薦]
- ⑧希望の部活動等に入るため [部活]
- ⑨奨学金制度が充実している [奨学]
- ⑩留学制度が充実している [留学]
- ⑪希望した大学に入れなかった [不入]

<全学>

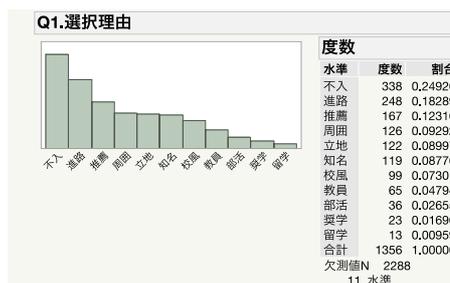


水準	度数	割合
進路	120	0.22430
不入	105	0.19626
推薦	74	0.13832
周囲	56	0.10467
知名	52	0.09720
校風	44	0.08224
立地	39	0.07290
教員	17	0.03178
部活	11	0.02056
留学	9	0.01682
奨学	8	0.01495
合計	535	1.00000
11水準		

参考：2022 年度



参考：2021 年度



これはひとり2つまで選択した合計の頻度である。回答した1年生は346名であったので、その回答者の中でどのくらいの割合が各理由をあげたかは以下の通りとなる。34.7%が本学を選択した理由として、「進路」すなわち「将来の希望進路に必要な勉強ができる」をあげた。ついで多かったのは「不入」すなわち「希望した大学に入れなかった」、30.3%である。1年生の2人に1人が「不入」を選んでいた2021年度から2年連続で割合が減少し、「不入」と「進路」の順位が入れ替わった。

進路	不入	推薦	周囲	知名	校風	立地	教員	部活	留学	奨学
120	105	74	56	52	44	39	17	11	9	8
34.7%	30.3%	21.4%	16.2%	15.0%	12.7%	11.3%	4.9%	3.2%	2.6%	2.3%

参考: 2022 年度

不入	進路	推薦	周囲	知名	立地	教員	校風	部活	留学	奨学
136	126	82	73	50	49	43	36	16	7	4
35.7%	33.1%	21.5%	19.2%	13.1%	12.9%	11.3%	9.4%	4.2%	1.8%	1.0%

参考: 2021 年度

不入	進路	推薦	周囲	立地	知名	校風	教員	部活	奨学	留学
338	248	167	126	122	119	99	65	36	23	13
50.1%	36.7%	24.7%	18.7%	18.1%	17.6%	14.7%	9.6%	5.3%	3.4%	1.9%

では2つ選択した時、どの2つの組み合わせが多かったのだろうか。2つの理由の組み合わせの頻度の一覧は以下の通りである（この設問に回答した1年生346名中、2つの理由を回答したのは201名）。

選択理由1と選択理由2の組み合わせの頻度

度数	不入	推薦	周囲	進路	立地	知名	部活	留学	奨学	教員	合計
進路	17	20	17	0	2	9	1	3	3	0	72
教員	0	2	1	2	3	0	0	1	1	0	10
校風	4	4	6	15	0	8	0	0	1	3	41
周囲	8	6	0	0	0	0	1	1	0	0	16
知名	11	12	3	0	3	0	1	1	0	0	31
立地	10	9	4	0	0	0	1	0	1	0	25
推薦	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4
部活	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
留学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	53	53	31	17	8	17	6	7	6	3	201

参考：2022年度

度数	不入	推薦	周囲	進路	立地	知名	部活	留学	奨学	教員	合計
進路	25	20	12	0	9	5	4	0	2	0	77
教員	2	5	4	17	4	1	1	1	0	0	35
校風	3	5	2	9	2	7	0	2	0	3	33
周囲	11	21	0	0	0	0	0	0	0	0	32
知名	11	8	6	0	2	0	2	0	0	0	29
立地	12	5	5	0	0	0	1	1	1	0	25
推薦	4	0	0	0	0	0	1	1	0	0	6
部活	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
留学	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
不入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	71	64	29	26	17	13	9	5	4	3	241

参考：2021年度

選択理由1と選択理由2の組み合わせの頻度	不入	推薦	周囲	立地	進路	知名	部活	奨学	教員	留学	合計
進路	47	34	22	15	0	19	9	5	0	0	151
校風	8	10	5	18	27	8	1	0	8	1	86
知名	38	13	11	10	0	0	2	1	0	0	75
立地	34	9	11	0	0	0	0	2	0	1	57
周囲	22	20	0	0	0	0	3	1	0	1	47
教員	4	8	5	3	18	3	2	1	0	0	44
推薦	6	0	0	0	0	0	8	1	0	2	17
奨学	7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	9
部活	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
留学	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
不入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	173	94	54	46	45	30	25	12	8	7	494

最も多いのが「推薦」と「進路」の20名で、次が「不入」と「進路」、「周囲」と「進路」の17名である。

2. 自己肯定感

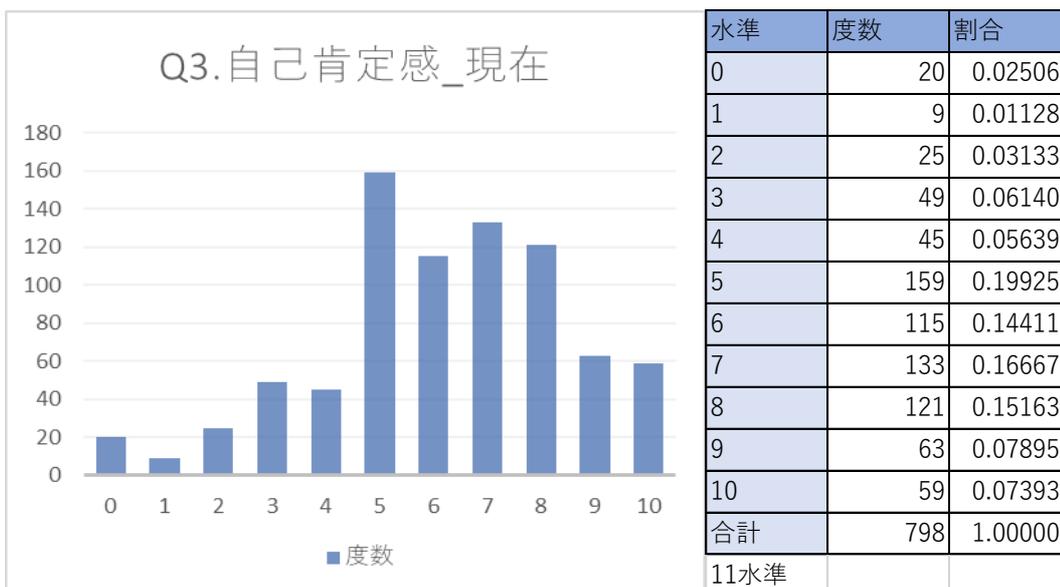
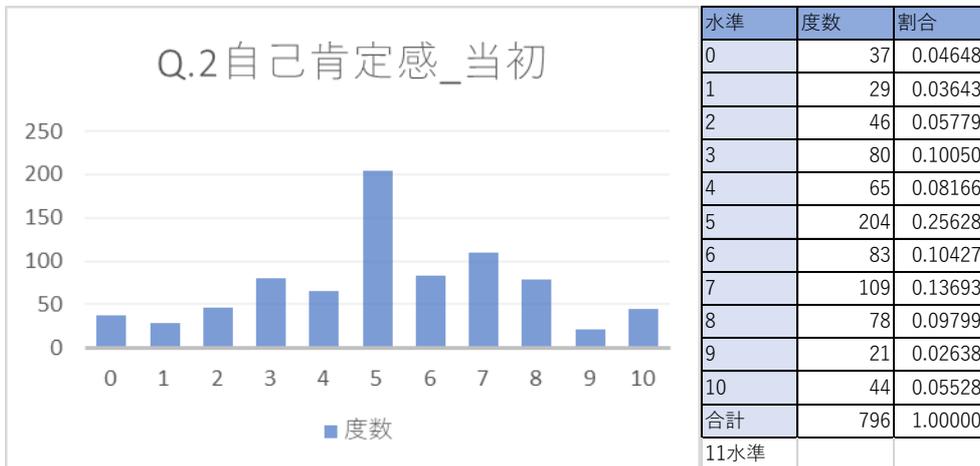
このセクションでは、Q2（入学時の自己肯定感）と、Q3（現在の自己肯定感）に関する部分について結果を報告する。

【自己肯定感】

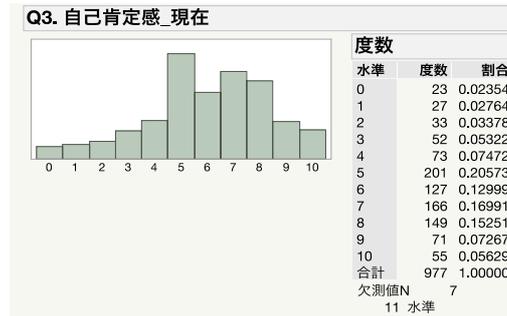
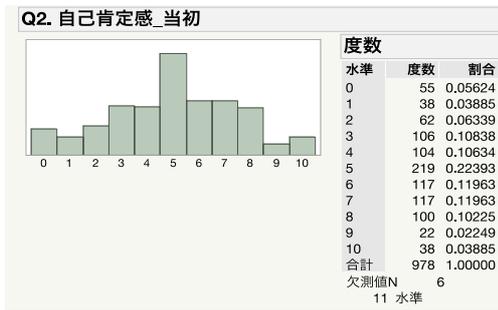
Q2「大東文化大学の学生」としての自己肯定感は、入学時にはどの程度でしたか。0(0%肯定)～10(100%肯定)の11段階で選んでください。

Q3「大東文化大学の学生」としての自己肯定感は、現在どの程度ですか。0(0%肯定)～10(100%肯定)の11段階で選んでください。

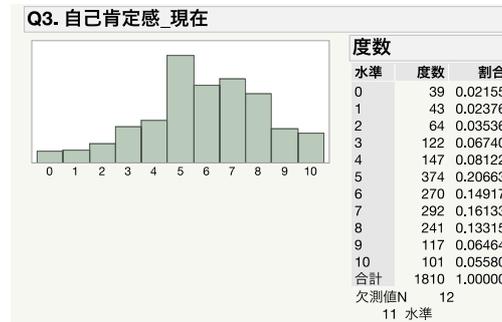
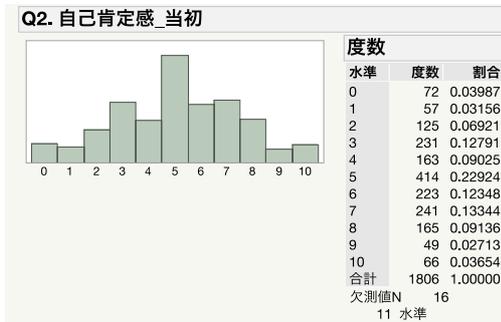
<全学>



参考：2022 年度



参考：2021 年度



全学の分布をヒストグラムで見ると、最頻値は入学時も現在も 5（50%程度の自己肯定感）であり、最低値の 0 から最高値の 10 まで広範に分布していることがわかる。平均値は、入学時が 5.21、現在が 6.17 であり、0.96 の上昇が見られた（2021 年度は 0.80、2022 年度は 0.99 の上昇）。つまり全学的には入学時よりも現在のほうが自己肯定感は上昇しているといえる。

<学年別>

Q3 の回答数値すなわち現在の自己肯定感を学年別に集計してみた。平均値は 2 年<1 年<3 年<4 年と高かった。統計的に有意な差は、1 年と 4 年の間にのみ見られた。

学年	数	平均	標準偏差	平均の標準誤差
1	346	6.14	2.37	0.13
2	190	5.93	2.05	0.15
3	140	6.17	2.33	0.20
4	122	6.65	2.38	0.22

参考：2022 年度

学年	数	平均	標準偏差	平均の標準誤差	下側95%	上側95%
1	392	5.85	2.36	0.12	5.62	6.09
2	246	5.90	2.14	0.14	5.63	6.17
3	178	6.12	2.11	0.16	5.81	6.43
4	160	6.31	2.69	0.21	5.89	6.73

参考：2021 年度

学年	数	平均	標準偏差	平均の標準誤差	下側95%	上側95%
1	672	5.74	2.26	0.09	5.57	5.91
2	518	5.43	2.29	0.10	5.23	5.62
3	393	6.11	2.20	0.11	5.89	6.33
4	227	6.96	2.10	0.14	6.69	7.24

3. 他学生および教職員との関係

このセクションでは、Q4（助け合える仲間）と、Q5（信頼できる教職員）に関する部分について結果を報告する。

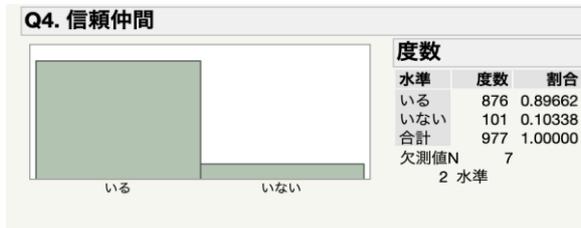
Q4 本学の学生の中で、交流し、助け合えるような仲間はひとりでもいますか。 ①いる ②いない

<全学>

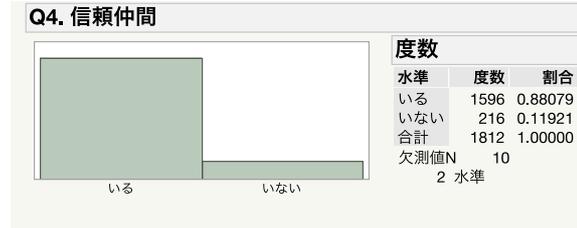


水準	度数	割合
いる	718	0.90542
いない	75	0.09458
合計	793	1.00000
2水準		

参考：2022 年度



参考：2021 年度



<学年別>

学年	いる	いない
1	94.15%	5.85%
2	90.96%	9.04%
3	86.52%	13.48%
4	84.43%	15.57%

参考：2022 年度

学年	いる	いない
1	90.28%	9.72%
2	92.71%	7.29%
3	87.08%	12.92%
4	86.88%	13.13%

参考：2021 年度

学年	いる	いない
1	87.8%	12.2%
2	82.6%	17.4%
3	92.2%	7.9%
4	94.3%	5.7%

全学では約 90%が「いる」と回答した。学年別には、昨年度に引き続き 3 年生、4 年生の数値がやや低い。

Q5 本学の教職員の中で、信頼できるまたは比較的気楽に話せる教職員はひとりでもいますか。

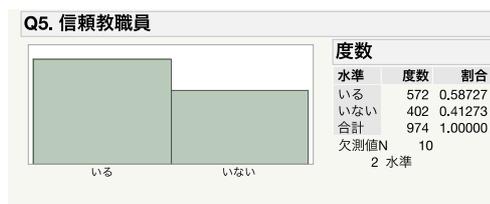
- ① いる ② いない

<全学>

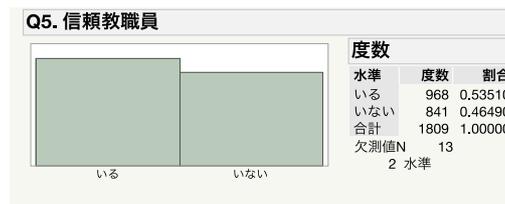


水準	度数	割合
いる	512	0.64403
いない	283	0.35597
合計	795	1.00000
2水準		

参考：2022 年度



参考：2021 年度



<学年別>

学年	いる	いない
1	59.3%	40.7%
2	56.4%	43.6%
3	76.8%	23.2%
4	76.9%	23.1%

参考：2022 年度

学年	いる	いない
1	50.0	50.0
2	53.0	47.0
3	74.7	25.3
4	71.3	28.8

参考：2021 年度

学年	いる	いない
1	44.79	55.21
2	42.83	57.17
3	66.92	33.08
4	80.26	19.74

教職員に関しては全体で約 64%が「いる」と答えた。2021 度の約 54%から 2 年連続で上昇しているのは好ましいことである。やはり対面授業が再開された効果かも知れない。学年別には、昨年度までと同

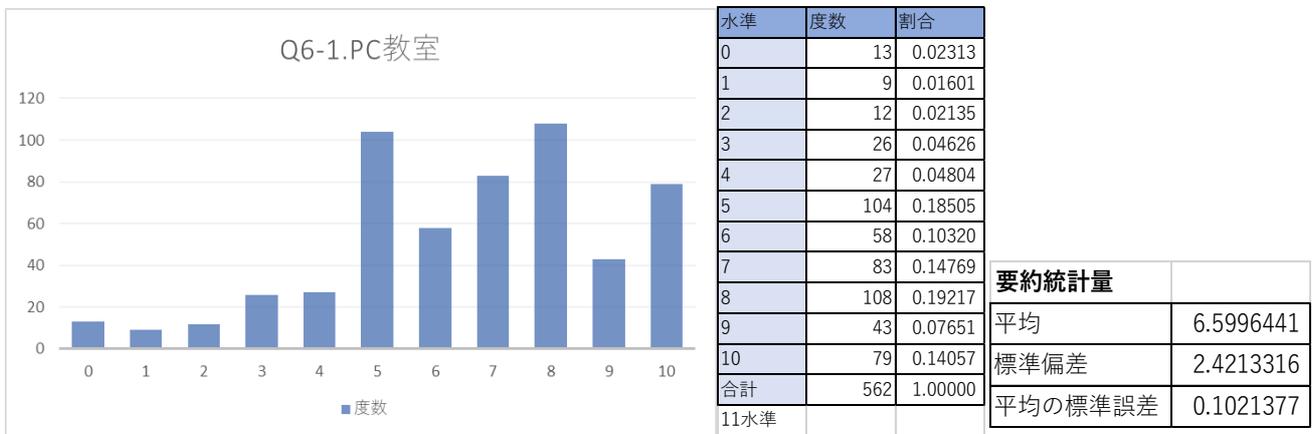
様 1 ～ 2 年生と 3 ～ 4 年生の間に顕著な差がある。

4. 施設等満足度

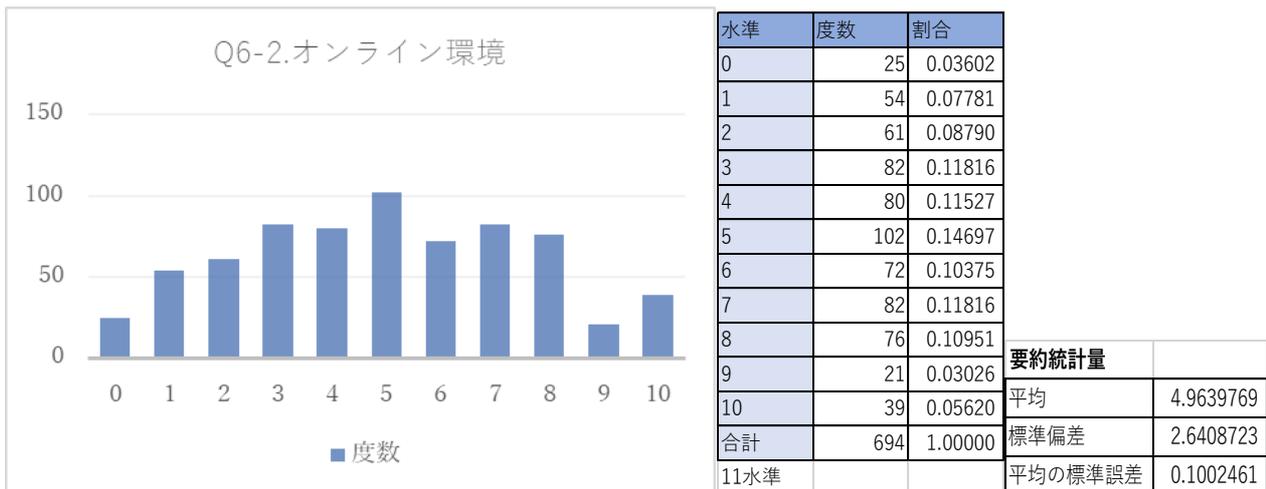
このセクションでは、Q6（施設等満足度）と Q7（施設等の改善希望）に関する部分について結果を報告する。

Q6 次のそれぞれの事項に対する満足度はどの程度ですか。0(0%満足)～10(100%満足)の 11 段階で選んでください。利用したことがない場合は、何も選択しないでください。

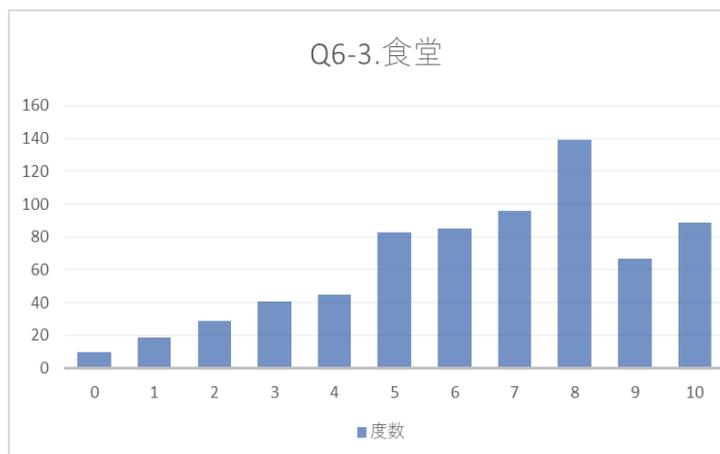
6.1 PC 教室



6.2 Wi-Fi などオンライン授業環境



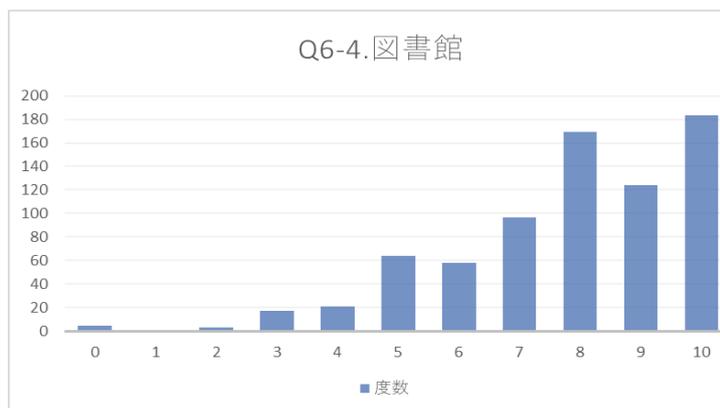
6.3 食堂



水準	度数	割合
0	10	0.01422
1	19	0.02703
2	29	0.04125
3	41	0.05832
4	45	0.06401
5	83	0.11807
6	85	0.12091
7	96	0.13656
8	139	0.19772
9	67	0.09531
10	89	0.12660
合計	703	1.00000
11水準		

要約統計量	
平均	6.5177809
標準偏差	2.5078902
平均の標準誤差	0.0945869

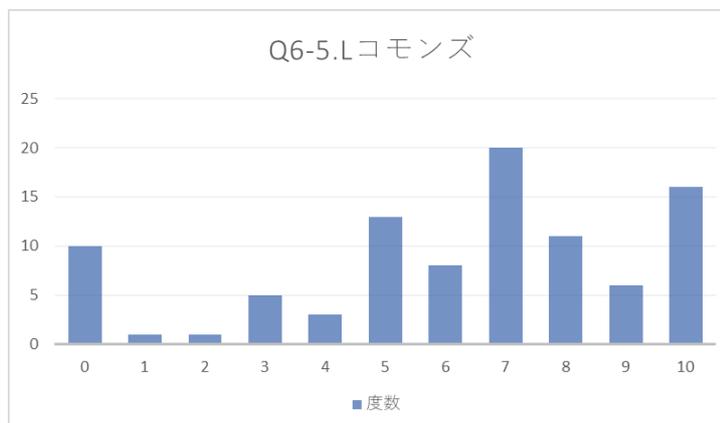
6.4 図書館



水準	度数	割合
0	5	0.00674
1	1	0.00135
2	3	0.00404
3	17	0.02291
4	21	0.02830
5	64	0.08625
6	58	0.07817
7	97	0.13073
8	169	0.22776
9	124	0.16712
10	183	0.24663
合計	742	1.00000
11水準		

要約統計量	
平均	7.7991914
標準偏差	2.0003637
平均の標準誤差	0.0734357

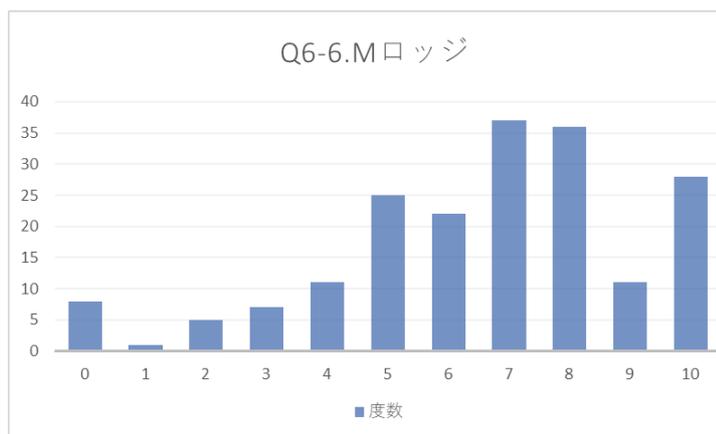
6.5 ラーニング・commons



水準	度数	割合
0	10	0.10638
1	1	0.01064
2	1	0.01064
3	5	0.05319
4	3	0.03191
5	13	0.13830
6	8	0.08511
7	20	0.21277
8	11	0.11702
9	6	0.06383
10	16	0.17021
合計	94	1.00000
11水準		

要約統計量	
平均	6.2234043
標準偏差	2.9898917
平均の標準誤差	0.3083838

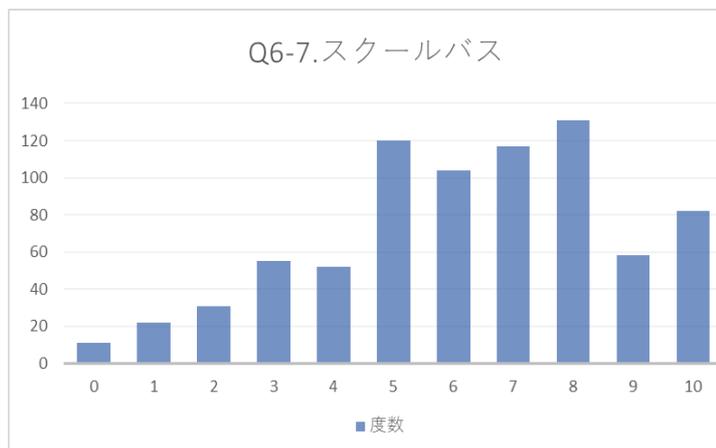
6.6 M ロッジ



水準	度数	割合
0	8	0.04188
1	1	0.00524
2	5	0.02618
3	7	0.03665
4	11	0.05759
5	25	0.13089
6	22	0.11518
7	37	0.19372
8	36	0.18848
9	11	0.05759
10	28	0.14660
合計	191	1.00000
11水準		

要約統計量	
平均	6.5916230
標準偏差	2.4920256
平均の標準誤差	0.1803166

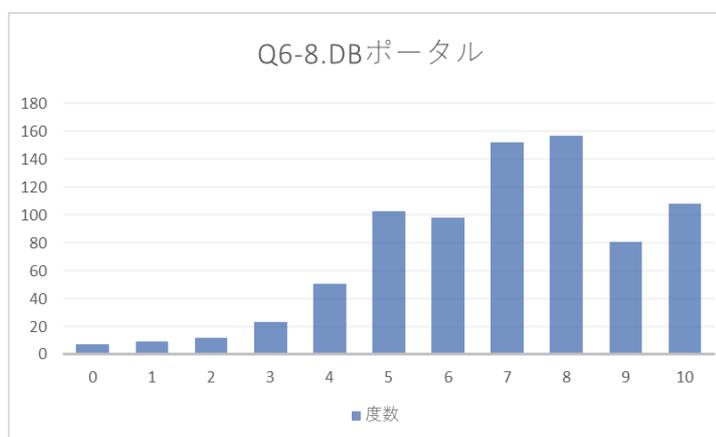
6.7 スクールバス



水準	度数	割合
0	11	0.01405
1	22	0.02810
2	31	0.03959
3	55	0.07024
4	52	0.06641
5	120	0.15326
6	104	0.13282
7	117	0.14943
8	131	0.16731
9	58	0.07407
10	82	0.10473
合計	783	1.00000
11水準		

要約統計量	
平均	6.2452107
標準偏差	2.4481649
平均の標準誤差	0.0874903

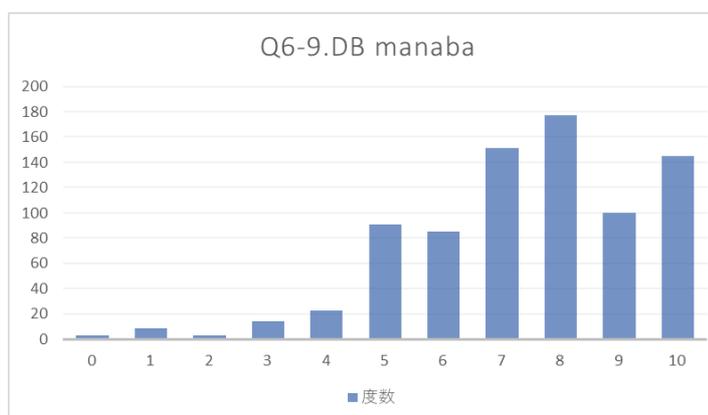
6.8 DB ポータル



水準	度数	割合
0	7	0.00874
1	9	0.01124
2	12	0.01498
3	23	0.02871
4	51	0.06367
5	103	0.12859
6	98	0.12235
7	152	0.18976
8	157	0.19600
9	81	0.10112
10	108	0.13483
合計	801	1.00000
11水準		

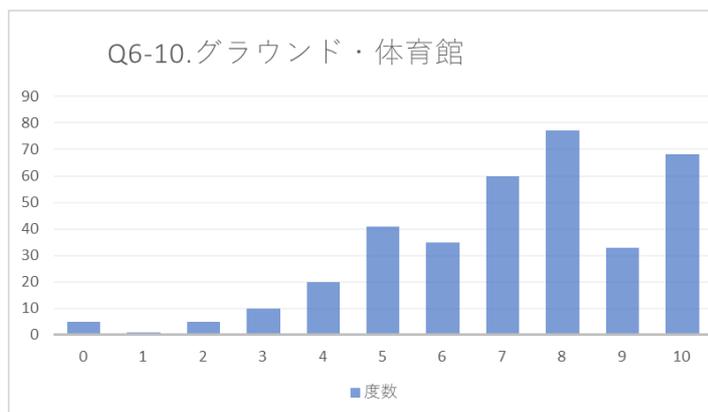
要約統計量	
平均	6.9138577
標準偏差	2.1640163
平均の標準誤差	0.0764618

6.9 DB manaba



水準	度数	割合	要約統計量	
0	3	0.00375		
1	9	0.01124		
2	3	0.00375		
3	14	0.01748		
4	23	0.02871		
5	91	0.11361		
6	85	0.10612		
7	151	0.18851		
8	177	0.22097		
9	100	0.12484	平均	7.4119850
10	145	0.18102	標準偏差	1.9900015
合計	801	1.00000	平均の標準誤差	0.0703132
11水準				

6.10 多目的グラウンド・体育館



水準	度数	割合	要約統計量	
0	5	0.01408		
1	1	0.00282		
2	5	0.01408		
3	10	0.02817		
4	20	0.05634		
5	41	0.11549		
6	35	0.09859		
7	60	0.16901		
8	77	0.21690		
9	33	0.09296	平均	7.1802817
10	68	0.19155	標準偏差	2.2230939
合計	355	1.00000	平均の標準誤差	0.1179896
11水準				

<平均と標準偏差の一覧>

	人数	平均	標準偏差
PC教室	562	6.60	2.42
オンライン環境	694	4.96	2.64
食堂	703	6.52	2.51
図書館	742	7.80	2.00
ラーニング・コモンズ	94	6.22	2.99
Mロッジ	191	6.59	2.49
スクールバス	783	6.25	2.45
DBポータル	801	6.91	2.16
DB manaba	801	7.41	1.99
グラウンド・体育館	355	7.18	2.22

参考：2022 年度

	人数	平均	標準偏差
PC教室	688	6.18	2.46
オンライン環境	880	4.69	2.61
食堂	869	6.46	2.44
図書館	898	7.74	1.90
ラーニング・コモンズ	71	5.31	3.40
Mロτζジ	199	6.20	2.60
スクールバス	966	5.86	2.56
DBポータル	974	6.79	2.22
DB manaba	974	7.33	2.00
グラウンド・体育館	433	7.00	2.25

参考：2021 年度

	人数	平均	標準偏差
PC教室	1084	6.26	2.42
オンライン環境	1646	6.00	2.52
食堂	1545	6.92	2.28
図書館	1496	7.86	1.94
ラーニング・コモンズ	174	6.17	2.86
Mロτζジ	348	6.73	2.47
スクールバス	1775	6.73	2.43
DBポータル	1803	7.02	2.14
DB manaba	1804	7.56	1.93
グラウンド・体育館	743	7.34	2.05

回答人数が昨年度より少なく、回答者も同一でないので一概に比較はできないが、平均値の数値としては 2022 年度よりもすべての施設に関して満足度が高くなっている。

5. 施設等への要望 [自由記述]

このセクションでは、Q7（施設等への要望）に対する自由記述の結果を報告する。

Q7. Q6 の内容で、特に改善して欲しいことがあれば具体的に書いてください。

この設問には 233 件の実質的なコメントがあった。その内容と件数は以下の通りである。（ひとつのコメント内で複数の内容について触れている場合はそれぞれカウントしている。）

Wi-Fi 等ネット環境について	94 件
スクールバスについて	83 件
食堂等について	55 件
図書館について	19 件
学内システムについて	15 件
体育施設等について	14 件
PC（教室）について	7 件
M ロッジについて	7 件
その他	30 件

<Wi-Fi 等ネット環境について(94 件)>

昨年度までと同様、Wi-Fi 等ネット環境についての意見は、異口同音に、繋がりにくいエリアがあるので強化して欲しい、というものであった。特に、学内システムを使用して出席登録をする際や、映像教材を視聴する際に困るとの声が多く寄せられた。本学では、昨年度の本調査の回答を受け、2023 年 9 月以降、Wi-Fi 設備の増強に取り組んでいるが、ネット環境の整備については引き続き学生の強い要望があることがわかる。

<スクールバスについて(83 件)>

スクールバスについては 83 件のコメントがあった。圧倒的に多い意見は、(1) 本数が少ない・混雑している、(2) 運転手・スタッフの対応が悪い、であった。また、(3) バス内や待合室が寒い・暑い、(4) 停留所に停車するバスと停車しないバスを分けて運行してほしい、(5) 緑山キャンパス行きのバスを運行してほしい、(6) 利用者のマナーが悪い、(7) 車内の音楽がうるさい、等の意見も見受けられた。

<食堂等について(55 件)>

食堂等については、(1) メニューに不満がある、(2) 値段が高い、(3) 混雑している・待ち時間が長い、という声が多かった。

<図書館について(19件)>

施設・設備に関するコメントが圧倒的に多く、具体的には(1) Wi-Fi 等ネット環境が悪い、(2) 印刷機や印刷用の PC を整備してほしい、(3) 自習スペースを整備してほしい、という内容が主だった。

また、利用時間・日数を増やしてほしいとの声もあった。

<学内システムについて(15件)>

主に見られたのは DB ポータルに関するコメントと、DB manaba に関するコメントだった。

DB ポータルについては、(1) 毎回のログインが面倒、(2) PC 版での表示に統一してほしい、などの声が多い。

DB manaba については、(1) 毎回のログインが面倒、(2) 「お知らせ」・「その他の曜日」等の項目が見つらい、との声があった。

また、授業で使用するシステムを DB ポータルか DB manaba かどちらかに統一してほしい、という意見が複数あった。

これらについては具体的な声を学園総合情報センターに伝えることとしたい。

<体育施設等について(14件)>

体育施設等について、以下に全件を掲載する。

1. 総合グラウンドのネットの高さを低く、ボールを取りに行くことに時間がかかるため、ネットの高さを上げて欲しいです。
2. 部活動に入ってなく体育なども履修してない学生が施設費は払っているのに利用出来るのか分からないや部活動で使っており利用しづらい事が多いのでそこを改善して欲しい
3. 総合グラウンドに屋根がある場所をもう少し増やして欲しい
4. 体育館が綺麗になるとうれしい
5. 体育館内の構図をもっと分かりやすくして欲しい。
6. グラウンドの日陰が少ない
7. トレーニングルームの利用時間をもう少し増やして欲しい。誰でも利用できる時間以外に指定強化部とそうでない部活との利用できる時間が違いすぎると思うので、部活単位での利用を取りやめて欲しい。また4時以降に男子バスケ部の溜まり場ようになって大声で会話をしたり、スマホをずっといじったりなどして非常に不愉快。
8. 部活動で体育館を使用する際、申請と使用時の条件に顧問かコーチ同伴というのが難しい場合があります。難しいとは承知していますが体育館の借用と使用に関して条件が緩和されることを希望いたします。
9. 体育施設使用申請時も、我々が申請したあとに申請してきたスポーツ部の申請が優遇されるのは、文化部の我々としては憤りを感じています。客観的な立場からの行動であったのか、公平性を欠かないための改善策を提議の後、実施していただきたく存じます。
10. 板橋キャンパスでも体育館やグラウンドを解放して欲しい トレーニングマシンやプールを使いたい
11. 総合グラウンドの女子トイレが流れにくいので修繕して欲しい

12. 体育館は、履修する授業じゃなければ、ある場所、教室は入れてはいけないとかこともあって、本校の学生なのに、自分の学校でプールとか、〇〇教室があるのも知らないことがある、そしてジムがあるが、スクール以外の学生は使えないなど改善したほうがいいと思う。
13. 授業で体育を履修し、体育館を利用した際 夏季の授業だったにも関わらず、体育館に大きい扇風機しかなくてとても熱く熱中症になりかけたのでエアコンの設置を検討してほしいです。
14. 総合体育館内のエアコンの効かなさ、床の汚さ
(原文ママ)

<PC(教室)について(7件)>

PC 関係では以下のコメントがあった。

1. pc 教室にて、授業中、自分の PC を使って作業するとき、コンセントがなかったり、教室の隅にあたりと、充電しながら作業したいときに不便に感じます。延長コードなどで充電しやすい環境を作ってもらえるとありがたいです。
2. ラーニングコモンズや M ロッジなどの話せるスペースで学校のパソコンを設置してくれるとグループワークするときなどに役に立つと思う。特にラーニングコモンズに設置してくれると一番うれしい
3. 東松山の CALL 室?で見られる toEIC などの資料を板橋でも使用できるようにしてほしい(取り寄せ等)
4. pc 教室を使用中の空気の入替えを長時間やってほしい。若しくは小窓などをセットして空気の循環を良くしてほしい。
5. 学生として一番不便なのは教室では、pc の充電する場所がないことだと思う。よく使われてる授業、教室にも関わらず、レストランと pc 教室しかなくて、不便だ、pc 教室は開閉時間があって、たまに休みの日もある、そして、わざわざ 6 号館にいかないと充電できない、レストランもそうだ、人がいっぱい、座るところもないから、充電することも同然できない。
6. PC 教室。常設 PC のスペックの低さ、扱いづらさ。特に席と画面の距離が近すぎて目が痛くなる。
7. PC 教室に水分補給をできるスペースが欲しい
(原文ママ)

<M ロッジについて(7件)>

M ロッジについては以下のコメントがあった。

1. M ロッジの座席を元に戻し、自習ができるようにしてほしい。
2. M ロッジの電球交代
3. ラーニングコモンズや M ロッジなどの話せるスペースで学校のパソコンを設置してくれるとグループワークするときなどに役に立つと思う。特にラーニングコモンズに設置してくれると一番うれしい
4. 実習期間中でも M ロッジを使えるようにしてほしい。
5. M ロッジを生徒にも使えるようにするか、久喜便を増やして欲しい。遠方から来ている学生が連日で通ったり移動時間が長すぎたりするのがつらい。
6. M ロッジはもう少し値下げしてほしい。

7. M ロッジの学生個人利用解禁、
(原文ママ)

<その他(30件)>

その他に、空調設備に不満がある、施設間の移動がしづらい、自習スペースを増やしてほしい、などの様々な声があった。

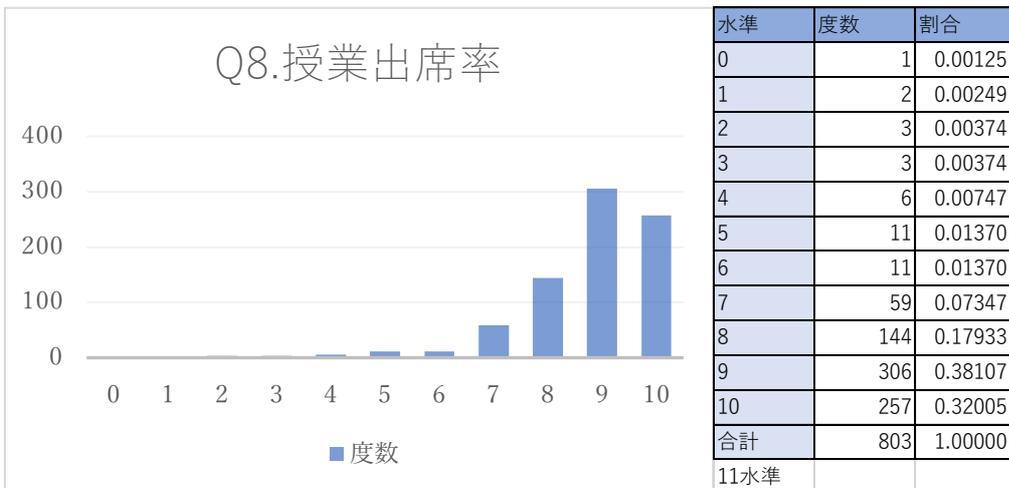
6. 学修状況

このセクションでは、Q8（授業の出席状況）と、Q9（出席状況が悪い理由）、Q10（平均的な学習時間）に関する部分について結果を報告する。

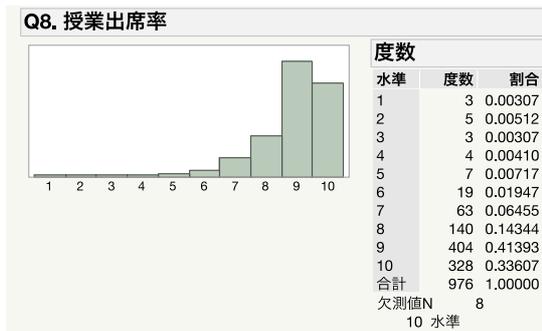
【日常の学修状況】

Q8 授業への平均的な出席状況はどの程度ですか。0(0%出席)～10(100%出席)の11段階で選んでください。

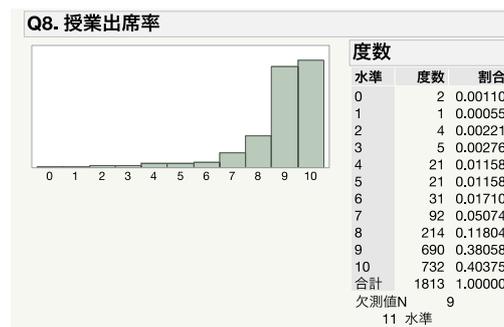
<全学>



参考：2022 年度



参考：2021 年度



全学の回答分布の最頻値は9である。9と10で約70%を占めている。2021年度は最頻値が10で、9と10で約78%を占めていた。また、2022年度は最頻値が9で、9と10で約75%を占めていた。すなわち2年連続で出席率が下がっているといえる。

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	346	8.80	1.30
2	192	8.82	1.12
3	141	8.91	1.47
4	124	8.52	1.67

参考：2022 年度

学年	人数	平均	標準偏差
1	391	8.66	1.51
2	247	9.10	1.02
3	177	9.08	0.97
4	160	8.81	1.34

参考：2021 年度

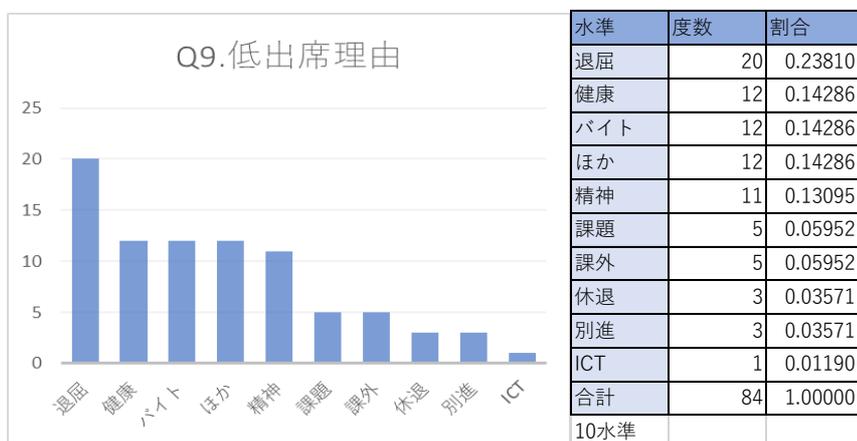
学年	人数	平均	標準偏差
1	670	8.93	1.42
2	519	9.13	1.13
3	396	8.94	1.37
4	228	8.88	1.11
全体	1813	8.98	1.30

学年別では4年生が8.52と最も低い。

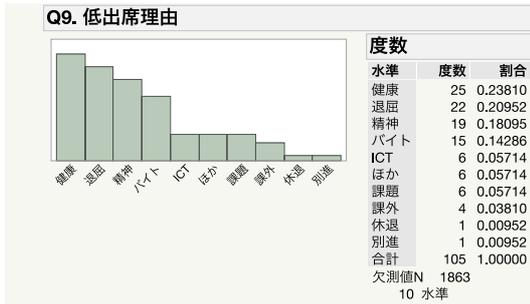
Q9 Q8で0~4を選んだ方は、その理由を教えてください。(主なものを2つまで)

- ①アルバイトに時間を費やしていた [バイト]
- ②課外活動(部活・サークル活動等)に時間を費やしていた [課外]
- ③授業がつまらなかった・やる気にならなかった [退屈]
- ④パソコン・インターネット環境が整わなかった [ICT]
- ⑤課題が多く、すべての授業に対応できなかった [課題]
- ⑥休学・退学を考えている [休退]
- ⑦精神的な悩み [精神]
- ⑧健康上の理由 [健康]
- ⑨別の進路を考えている [別進]
- ⑩その他 [ほか]

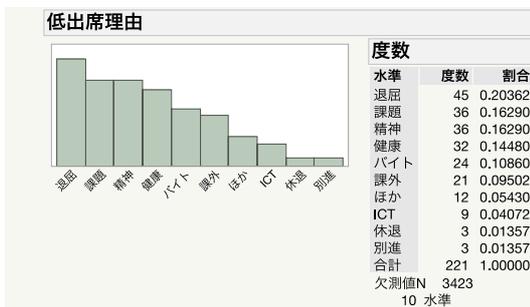
<全学>



参考：2022 年度



参考: 2021 年度



最も頻度が高いのは「退屈」で、次に「健康」と「バイト」が続いている。2022 年度に最も多かった「健康」の割合が、今年度かなり減った。上の表で「割合」とあるのは、すべての理由を 1.00 としたときの割合であるが、この項目に回答した人数は 60 人なので、回答した人数に対する割合は、以下のようになる。回答者の約 33%が「退屈」を、20%が「健康」と「バイト」をあげた。2021 年度以降、出席率が悪かったと回答した学生のうち 30%の学生が「退屈」をあげているといえる。教員の側からコントロールの難しい「健康」「精神」と異なり、「退屈」についてはその解消に教員が関わることのできる部分があるのではないだろうか。

退屈	健康	バイト	ほか	精神	課題	課外	休退	別進	ICT
20	12	12	12	11	5	5	3	3	1
33.3%	20.0%	20.0%	20.0%	18.3%	8.3%	8.3%	5.0%	5.0%	1.7%

参考：2022 年度

健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進
25	22	19	15	6	6	6	4	1	1
35.2%	31.0%	26.8%	21.1%	8.5%	8.5%	8.5%	5.6%	1.4%	1.4%

参考: 2021 年度

退屈	課題	精神	健康	バイト	課外	ほか	ICT	休退	別進
45	36	36	32	24	21	12	9	3	3
30.6%	24.5%	24.5%	21.8%	16.3%	14.3%	8.2%	6.1%	2.0%	2.0%

次に学年と理由のクロス集計を、度数と学年内パーセンテージで表示する。

<学年別> (度数)

学年	健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進	合計
1	9	10	3	4	1	6	0	3	1	1	38
2	1	3	1	3	0	4	2	1	1	0	16
3	1	5	2	2	0	1	1	1	1	2	16
4	1	2	5	3	0	1	2	0	0	0	14
合計	12	20	11	12	1	12	5	5	3	3	84

参考: 2022 年度

学年	健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進	合計
1	15	12	13	8	5	5	3	0	1	1	63
2	4	4	2	3	0	1	1	2	0	0	17
3	3	3	1	1	1	0	0	0	0	0	9
4	3	3	3	3	0	0	2	2	0	0	16
合計	25	22	19	15	6	6	6	4	1	1	105

参考: 2021 年度

学年	退屈	課題	精神	健康	バイト	課外	ほか	ICT	休退	別進	合計
1	17	18	18	16	6	9	4	3	2	3	96
2	8	8	5	4	4	4	4	1	1	0	39
3	12	8	12	9	9	4	4	2	0	0	60
4	8	2	1	3	5	4	0	3	0	0	26
合計	45	36	36	32	24	21	12	9	3	3	221

<学年別> (学年内パーセンテージ)

学年	健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進
1	23.7%	26.3%	7.9%	10.5%	2.6%	15.8%	0.0%	7.9%	2.6%	2.6%
2	6.3%	18.8%	6.3%	18.8%	0.0%	25.0%	12.5%	6.3%	6.3%	0.0%
3	6.3%	31.3%	12.5%	12.5%	0.0%	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	12.5%
4	7.1%	14.3%	35.7%	21.4%	0.0%	7.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%

参考：2022 年度

学年 By Q9. 低出席理由											
学年	健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進	
1	23.8	19.1	20.6	12.7	7.9	7.9	4.8	0.0	1.6	1.6	
2	23.5	23.5	11.8	17.7	0.0	5.9	5.9	11.8	0.0	0.0	
3	33.3	33.3	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
4	18.8	18.8	18.8	18.8	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	

参考: 2021 年度

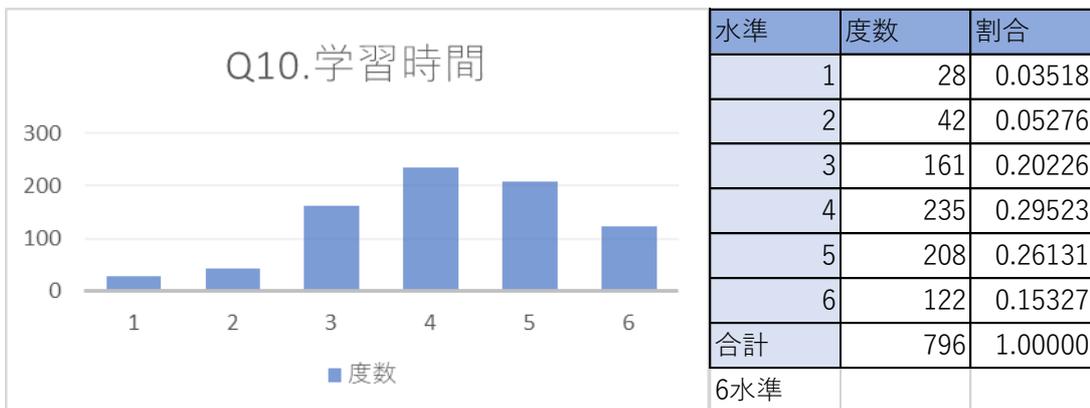
学年 By 低出席理由											
学年	退屈	課題	精神	健康	バイト	課外	ほか	ICT	休退	別進	合計
1	17.7	18.8	18.8	16.7	6.3	9.4	4.2	3.1	2.1	3.1	
2	20.5	20.5	12.8	10.3	10.3	10.3	10.3	2.6	2.6	0.0	
3	20.0	13.3	20.0	15.0	15.0	6.7	6.7	3.3	0.0	0.0	
4	30.8	7.7	3.9	11.5	19.2	15.4	0.0	11.5	0.0	0.0	

度数に関して、1年生が38と突出しているが回答した母数もまた1年生が最も多いことの反映ともいえる。また、対面授業が再開したためか「ICT」（パソコン・インターネット環境が整わなかった）の割合が2021年度から2年連続で減少している。「休退」（休学・退学を考えている）、「別進」（別の進路を考えている）と回答した4年生は、2021年度から3年連続でいなかった。

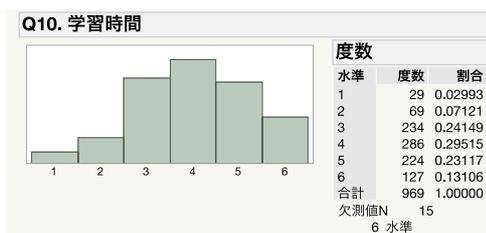
Q10 授業のための予習・復習・課題、資格取得のための準備等を合わせて、一日平均どのくらい学習しますか。

- ① 4時間以上 ② 3時間程度 ③ 2時間程度 ④ 1時間程度 ⑤ 1時間未満 ⑥ ほぼしない

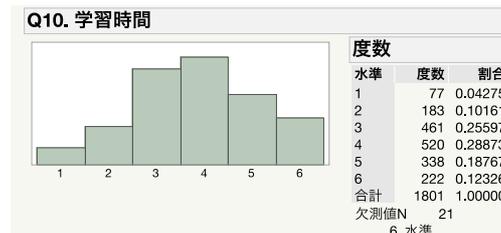
<全学>



参考：2022 年度



参考：2021 年度



最頻値は4（1時間程度）で、約30%を占める。2021年度、2022年度とほぼ同様の結果である。大学生の学習時間としては少ないと言わざるを得ない。6（ほぼしない）は2021年度の約12%から2年連続で増加し、約15%だった。次に学年別の分布を示す。

<学年別>

学年	1	2	3	4	5	6
1	2.3%	4.4%	21.3%	27.4%	30.0%	14.6%
2	1.6%	4.7%	20.9%	29.3%	24.1%	19.4%
3	8.2%	3.7%	20.1%	33.6%	22.4%	11.9%
4	4.1%	9.8%	16.4%	32.0%	23.0%	14.8%

参考：2022年度

学年	1	2	3	4	5	6
1	1.8%	4.9%	20.9%	28.4%	28.7%	15.2%
2	2.0%	8.9%	28.5%	35.8%	15.4%	9.3%
3	6.8%	10.2%	25.6%	27.3%	18.8%	11.4%
4	3.1%	6.3%	23.9%	25.2%	25.8%	15.7%

参考：2021年度

学年	1	2	3	4	5	6
1	2.9	8.1	26.8	30.9	18.6	12.7
2	5.4	14.3	29.6	26.1	16.4	8.1
3	5.3	10.7	22.4	27.5	19.3	14.8
4	4.0	5.8	18.3	31.7	23.7	16.5

学年別には1（4時間以上）の割合が最も高いのは昨年度と同様3年生である。1と2の合計（すなわち3時間以上学習している）による学年の順序は2年<1年<3年<4年、1と2と3の合計（すなわち2時間以上学習している）による学年の順序は2年<1年<4年<3年であった。したがって、1年生、2年生の学習時間より、3年生、4年生の学習時間が長いといえる。

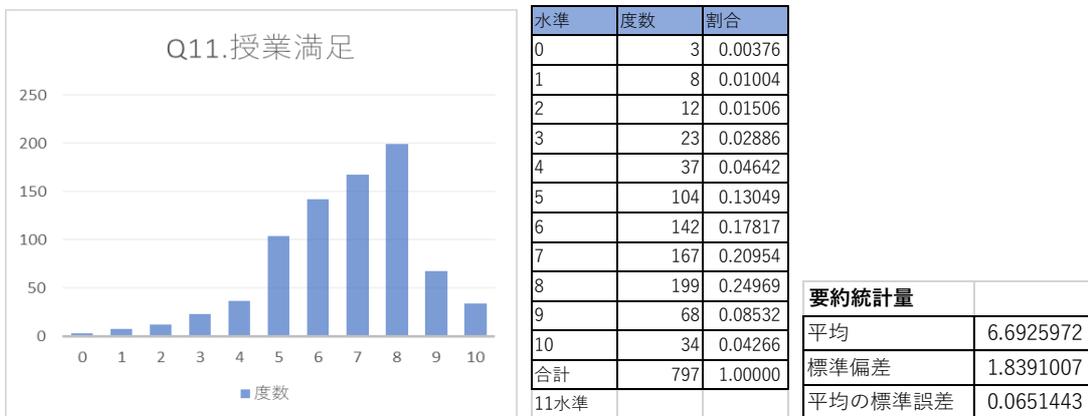
7. 授業満足度

このセクションでは、Q11（授業満足度）、Q12（満足度が高い理由）、Q13（満足度が低い理由）に関する部分について結果を報告する。

【これまでの授業への満足度】

Q11 本学でこれまで履修してきた授業に対する全体的な満足度はどの程度ですか。0(0%満足)～10(100%満足)の11段階で選択してください。

<全学>

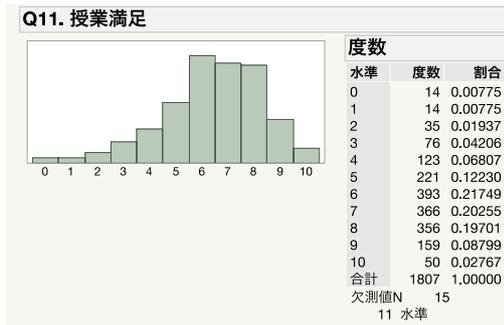


昨年度と同様、最頻値は8（80%満足）であり、ついで7（70%満足）と6（60%満足）が多かった。しかし0（0%満足）から10（100%満足）まで広い範囲に分布しており、平均値は6.69である。全体としては66.9%程度の満足、ということになる。

参考：2022年度



参考：2021 年度



要約統計量

平均	6.423907
標準偏差	1.8981963
平均の標準誤差	0.0446542
平均の上側95%	6.5114863
平均の下側95%	6.3363278
N	1807

< 学年別 >

学年	数	平均	標準偏差
1	343	6.68	1.84
2	190	6.55	1.78
3	140	6.69	1.80
4	124	6.95	1.96

参考：2022 年度

学年	数	平均	標準偏差
1	390	6.44	1.86
2	247	6.59	1.67
3	177	6.74	1.65
4	159	6.53	2.32

参考：2021 年度

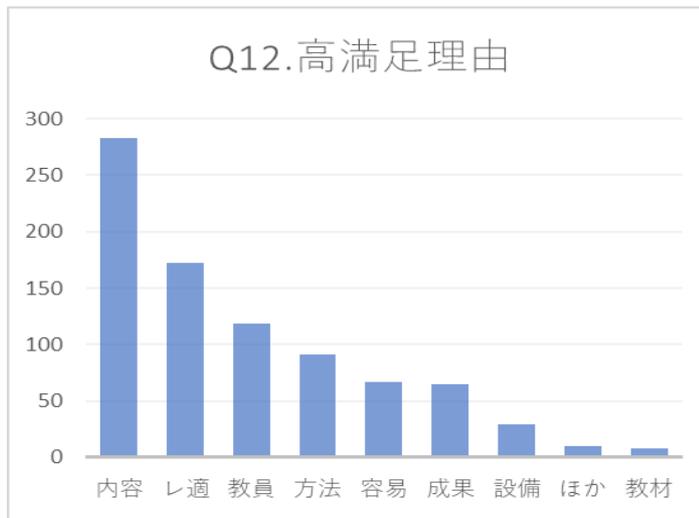
学年	数	平均	標準偏差
1	669	6.44	1.89
2	519	6.05	2.01
3	394	6.57	1.85
4	225	7.00	1.53

昨年度は、1年生の数値が2年生、3年生になると上昇し、4年生でやや低くなるという傾向が見えたが、今年度は2年<1年<3年<4年という結果だった。

Q12 Q11 で7~10を選んだ方は、満足度が(比較的)高い理由を教えてください。(主なものを2つまで)

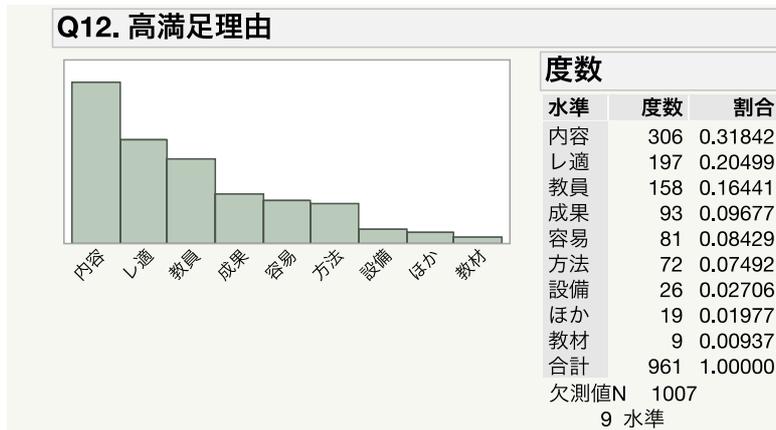
- ①授業内容がよい [内容]
- ②授業方法がよい [方法]
- ③担当教員が魅力的である [教員]
- ④単位の修得が容易である [容易]
- ⑤授業レベルが自分に合っている [レ適]
- ⑥教材がよい [教材]
- ⑦施設/設備がよい [設備]
- ⑧授業の成果が実感できる [成果]
- ⑨その他 [ほか]

<全学>



水準	度数	割合
内容	283	0.33531
レ適	172	0.20379
教員	119	0.14100
方法	91	0.10782
容易	67	0.07938
成果	65	0.07701
設備	29	0.03436
ほか	10	0.01185
教材	8	0.00948
合計	844	1.00000
9水準		

参考：2022 年度



参考：2021 年度



2021 年度、2022 年度と、内容（授業内容がよい）＞レ適（授業レベルが自分に合っている）＞教員（担当教員が魅力的である） の3つの順位は共通である。

学年別の結果を以下に示す。

<学年別>

学年	内容	レ適	教員	方法	成果	容易	設備	ほか	教材
1	33.4%	20.1%	12.5%	11.6%	8.2%	8.2%	4.2%	1.1%	0.6%
2	33.8%	22.7%	13.6%	11.6%	5.1%	7.6%	3.0%	1.5%	1.0%
3	33.8%	21.4%	17.5%	8.4%	8.4%	7.8%	1.9%	0.6%	0.0%
4	33.1%	16.5%	15.1%	10.1%	9.4%	7.9%	3.6%	1.4%	2.9%

参考：2022 年度

学年	内容	レ適	教員	成果	容易	方法	設備	ほか	教材
1	28.5	25.2	14.4	9.1	9.1	7.2	3.1	2.5	0.8
2	32.8	19.3	14.3	12.3	7.0	9.8	0.8	2.9	0.8
3	37.8	17.1	19.2	8.8	5.2	7.3	2.6	1.6	0.5
4	30.4	16.2	21.1	8.1	12.4	5.0	5.0	0.0	1.9

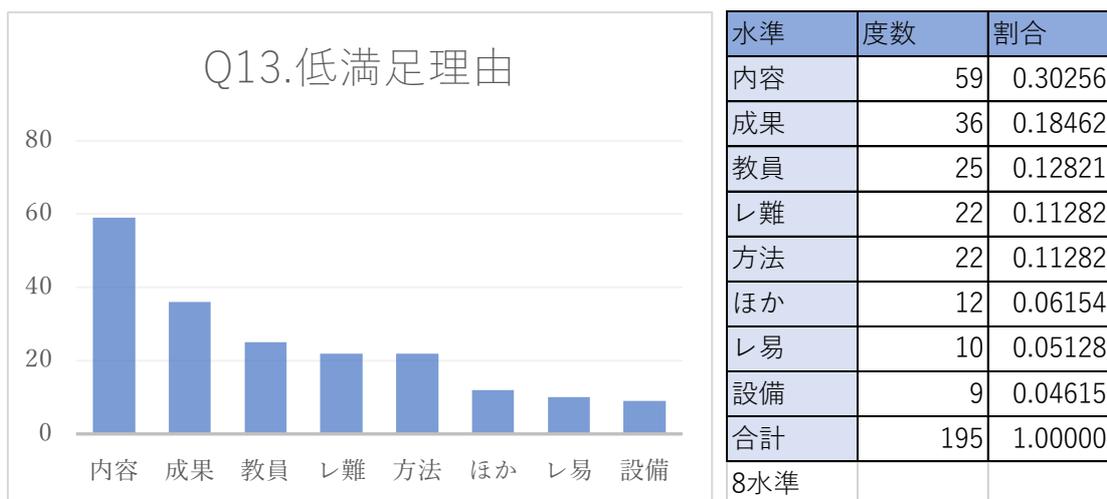
参考：2021 年度

学年	内容	レ適	教員	方法	成果	容易	設備	教材	他
1	31.2	22.9	14.3	9.9	8.9	6.5	3.8	1.9	0.7
2	32.8	19.6	15.3	10.4	8.3	7.6	2.8	0.9	2.4
3	34.7	13.9	17.6	10.5	7.9	6.8	3.9	2.9	1.8
4	34.4	22.5	15.3	8.8	5.3	6.5	4.6	1.9	0.8

Q13 Q11 で 0～4 を選んだ方は、満足度が(比較的)低い理由を教えてください。(主なものを 2 つまで)

- ①授業内容に魅力がない [内容]
- ②授業方法になじめない [方法]
- ③担当教員と相性が悪い [教員]
- ④授業レベルが難しすぎる [レ難]
- ⑤授業レベルが簡単すぎる [レ易]
- ⑥施設/設備が貧弱である [設備]
- ⑦授業の成果が実感できない [成果]
- ⑧その他 [ほか]

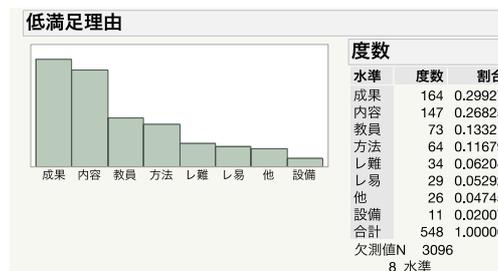
<全学>



参考：2022 年度



参考：2021 年度



昨年度と同様、満足度が低い場合にもっとも多い理由は「内容」（授業内容に魅力がない）で、次いで「成果」（授業の成果が実感できない）、そして「教員」（担当教員と相性が悪い）が多かった。2021年度は「成果」と「内容」の順位が逆であったが、主要な要因は変わっていない。また「レ易」（授業レベルが簡単すぎる）と「レ難」（授業レベルが難しすぎる）の両方があるのがレベル設定の上で悩ましいことである。

<学年別>

学年	内容	成果	教員	方法	レ難	ほか	レ易	設備
1	26.8%	14.6%	8.5%	14.6%	15.9%	6.1%	4.9%	8.5%
2	32.3%	16.9%	23.1%	7.7%	10.8%	3.1%	4.6%	1.5%
3	33.3%	30.0%	0.0%	10.0%	6.7%	10.0%	6.7%	3.3%
4	33.3%	22.2%	16.7%	11.1%	0.0%	11.1%	5.6%	0.0%

参考：2022 年度

学年	内容	成果	教員	ほか	レ易	レ難	設備	方法
1	25.6	17.1	11.1	10.3	12.0	11.1	6.8	6.0
2	29.0	29.0	25.8	4.8	3.2	1.6	4.8	1.6
3	32.3	35.5	9.7	3.2	6.5	0.0	3.2	9.7
4	34.0	28.0	10.0	10.0	6.0	2.0	4.0	6.0

参考：2021 年度

学年	成果	内容	教員	方法	レ難	レ易	他	設備
1	24.6	28.6	14.6	14.6	8.2	4.1	3.2	2.3
2	37.6	25.8	12.4	8.3	5.2	4.1	5.2	1.6
3	31.7	27.7	10.9	11.9	5.0	5.9	5.9	1.0
4	15.2	18.2	18.2	12.1	3.0	18.2	9.1	6.1

学年別に見るとどの学年も「内容」が多かった。2021 年度、2022 年度と見比べてみるとパターンが異なるので、これらは学年の特徴というよりも、その年ごとの学生集団の特徴なのかも知れない。ただいずれにせよ回答率が低いので解釈の妥当性は限定的である。

8. DP 達成度

このセクションでは、Q14～Q22（DP 達成度）に関する部分について結果を報告する。

【DP 達成度】

以下の設問は、本学の「卒業認定・学位授与方針」に関連した問いです。本学では以下のような力を身につけた学生に卒業を認定すると定めています。現時点での自分の認識として、それぞれの力がどの程度身についていると思いますか。0(まったく身につけていない)～10(100%身につけている)の11段階で選んでください。

Q14 「豊かな教養の基礎となる広範な知識を修得している」

Q15 「自らが学ぶ学位プログラムの基礎となる専門知識・技能を修得し、活用することによって、現代社会の諸問題にチャレンジできる」

Q16 「国内外における諸課題を発見し、解決策を構想するための思考力や判断力を身に付けている」

Q17 「自分の意見を持ち、それを適切に表現・伝達できるとともに、背景や価値観の異なる他者の意見を傾聴し、他者と協力・共同することにより問題を解決する能力を持っている」

Q18 「生涯にわたって学び続け、国際社会や地域社会の発展に貢献する意欲と能力をもっている」

Q19 「修得した専門的知識と技能を使って、社会の中核・中堅として、その発展に貢献する意欲と能力を持っている」

Q20 「広い知識を求め学び続け、応用的能力を展開させ、使命感を持って社会の発展に寄与できる」

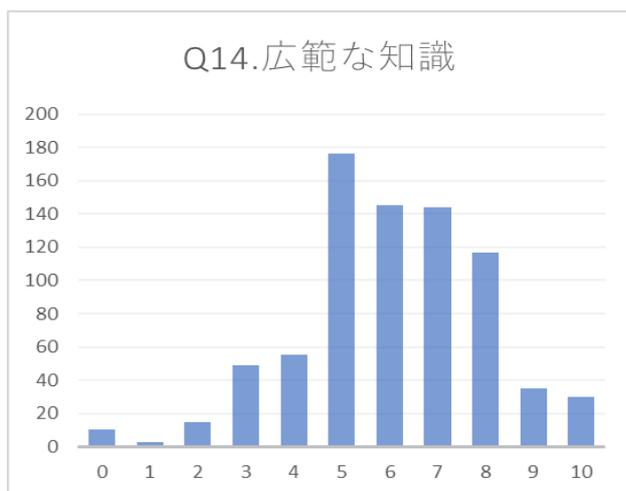
Q21 「本学の建学の精神(漢学の振興と東西文化の融合)を知り、新しい文化の創造を目指す」

Q22 「本学の理念(多文化共生)に基づき、多様性を認め、地球的規模の視野と感覚を持ち、異文化への理解力・共感力、コミュニケーション能力を発揮し、多文化社会における諸問題の解決に貢献できる」

次ページより各問に関して、全学の回答分布、全学の要約統計量、学年別の平均と標準偏差を示す。昨年度と同様、全学の回答に関しては、全ての設問で最頻値は5(50%身につけている)である。学年別に見ると全ての設問で、1年<2年<3年<4年と平均値が上昇している。

Q14 「豊かな教養の基礎となる広範な知識を修得している」

<全学>



水準	度数	割合
0	10	0.01284
1	3	0.00385
2	15	0.01926
3	49	0.06290
4	55	0.07060
5	176	0.22593
6	145	0.18614
7	144	0.18485
8	117	0.15019
9	35	0.04493
10	30	0.03851
合計	779	1.00000
11水準		

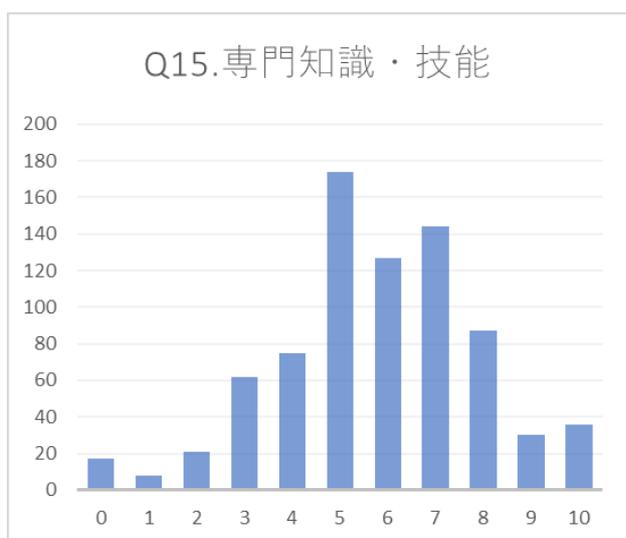
要約統計量	
平均	6.0449294
標準偏差	1.9352243
平均の標準誤差	0.0693366

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	336	5.68	1.93
2	185	5.92	1.69
3	137	6.42	1.91
4	121	6.83	2.03

Q15 「自らが学ぶ学位プログラムの基礎となる専門知識・技能を修得し、活用することによって、現代社会の諸問題にチャレンジできる」

<全学>



水準	度数	割合
0	17	0.02177
1	8	0.01024
2	21	0.02689
3	62	0.07939
4	75	0.09603
5	174	0.22279
6	127	0.16261
7	144	0.18438
8	87	0.11140
9	30	0.03841
10	36	0.04609
合計	781	1.00000
11水準		

要約統計量	
平均	5.7644046
標準偏差	2.1092596
平均の標準誤差	0.0754752

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	337	5.46	2.09
2	187	5.70	1.95
3	138	5.99	2.04
4	119	6.49	2.27

Q16 「国内外における諸課題を発見し、解決策を構想するための思考力や判断力を身に付けている」

<全学>



水準	度数	割合
0	18	0.02308
1	22	0.02821
2	32	0.04103
3	69	0.08846
4	96	0.12308
5	164	0.21026
6	130	0.16667
7	130	0.16667
8	68	0.08718
9	22	0.02821
10	29	0.03718
合計	780	1.00000
11水準		

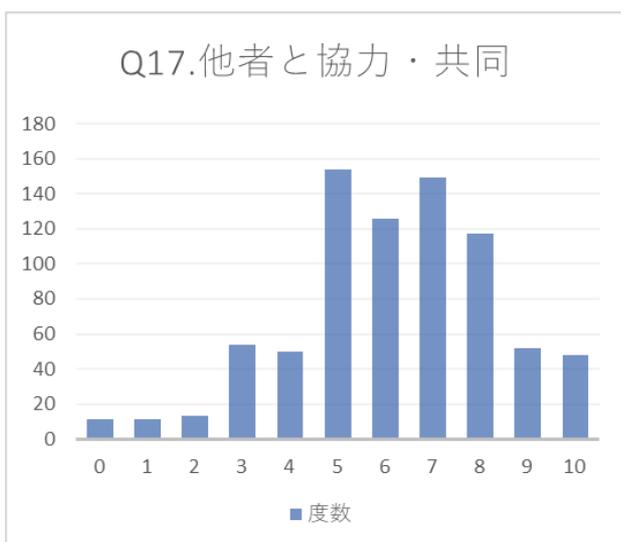
要約統計量	
平均	5.4089744
標準偏差	2.1692895
平均の標準誤差	0.0776730

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	337	5.19	2.13
2	187	5.32	2.01
3	137	5.44	2.26
4	119	6.14	2.26

Q17 「自分の意見を持ち、それを適切に表現・伝達できるとともに、背景や価値観の異なる他者の意見を傾聴し、他者と協力・共同することにより問題を解決する能力を持っている」

<全学>



水準	度数	割合
0	11	0.01401
1	11	0.01401
2	13	0.01656
3	54	0.06879
4	50	0.06369
5	154	0.19618
6	126	0.16051
7	149	0.18981
8	117	0.14904
9	52	0.06624
10	48	0.06115
合計	785	1.00000
11水準		

要約統計量	
平均	6.1808917
標準偏差	2.1254639
平均の標準誤差	0.0758611

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	341	5.89	2.13
2	186	6.19	1.89
3	139	6.40	2.25
4	119	6.74	2.18

Q18 「生涯にわたって学び続け、国際社会や地域社会の発展に貢献する意欲と能力をもっている」

<全学>



水準	度数	割合
0	17	0.02179
1	14	0.01795
2	14	0.01795
3	61	0.07821
4	62	0.07949
5	161	0.20641
6	137	0.17564
7	124	0.15897
8	102	0.13077
9	40	0.05128
10	48	0.06154
合計	780	1.00000
11水準		

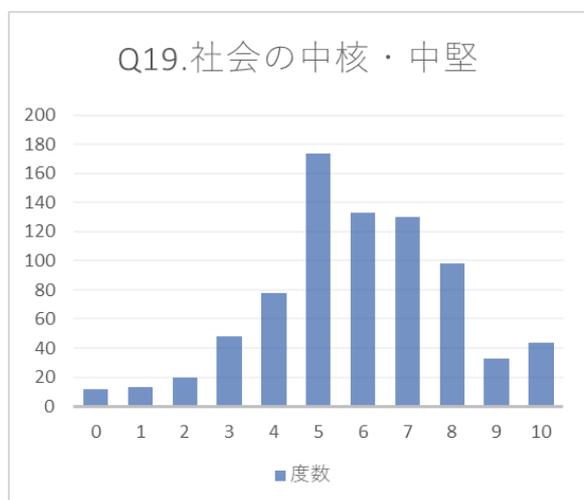
要約統計量	
平均	5.9282051
標準偏差	2.2072083
平均の標準誤差	0.0790307

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	337	5.66	2.16
2	186	5.95	2.10
3	138	5.95	2.30
4	119	6.62	2.25

Q19「修得した専門的知識と技能を使って、社会の中核・中堅として、その発展に貢献する意欲と能力を持っている」

<全学>



水準	度数	割合
0	12	0.01533
1	13	0.01660
2	20	0.02554
3	48	0.06130
4	78	0.09962
5	174	0.22222
6	133	0.16986
7	130	0.16603
8	98	0.12516
9	33	0.04215
10	44	0.05619
合計	783	1.00000
11水準		

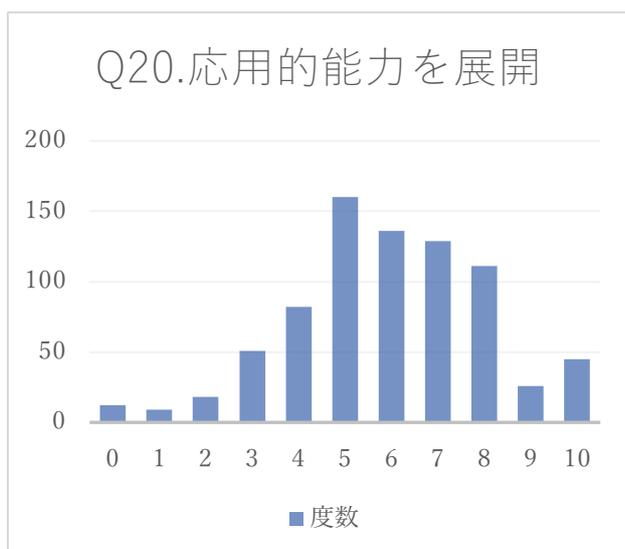
要約統計量	
平均	5.8850575
標準偏差	2.1165453
平均の標準誤差	0.0756392

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	340	5.69	2.10
2	186	5.82	2.03
3	139	5.93	2.15
4	118	6.49	2.15

Q20「広い知識を求め学び続け、応用的能力を展開させ、使命感を持って社会の発展に寄与できる」

<全学>



水準	度数	割合
0	12	0.01540
1	9	0.01155
2	18	0.02311
3	51	0.06547
4	82	0.10526
5	160	0.20539
6	136	0.17458
7	129	0.16560
8	111	0.14249
9	26	0.03338
10	45	0.05777
合計	779	1.00000
11水準		

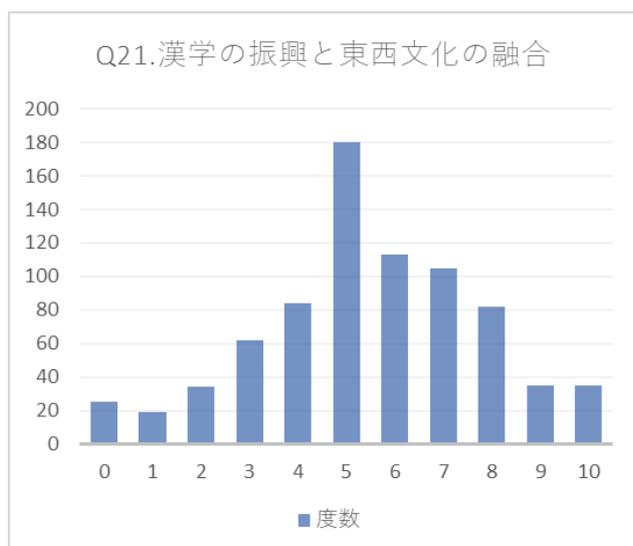
要約統計量	
平均	5.9268293
標準偏差	2.0937063
平均の標準誤差	0.0750148

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	337	5.71	2.12
2	186	5.82	1.93
3	138	6.02	2.09
4	118	6.61	2.13

Q21「本学の建学の精神(漢学の振興と東西文化の融合)を知り、新しい文化の創造を目指す」

<全学>



水準	度数	割合
0	25	0.03230
1	19	0.02455
2	34	0.04393
3	62	0.08010
4	84	0.10853
5	180	0.23256
6	113	0.14599
7	105	0.13566
8	82	0.10594
9	35	0.04522
10	35	0.04522
合計	774	1.00000
11水準		

要約統計量	
平均	5.4819121
標準偏差	2.2996592
平均の標準誤差	0.0826595

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	335	5.32	2.25
2	184	5.43	2.24
3	137	5.57	2.35
4	118	5.92	2.43

Q22「本学の理念(多文化共生)に基づき、多様性を認め、地球的規模の視野と感覚を持ち、異文化への理解力・共感力、コミュニケーション能力を発揮し、多文化社会における諸問題の解決に貢献できる」

<全学>



水準	度数	割合
0	13	0.01673
1	15	0.01931
2	20	0.02574
3	55	0.07079
4	67	0.08623
5	177	0.22780
6	108	0.13900
7	138	0.17761
8	90	0.11583
9	43	0.05534
10	51	0.06564
合計	777	1.00000
11水準		

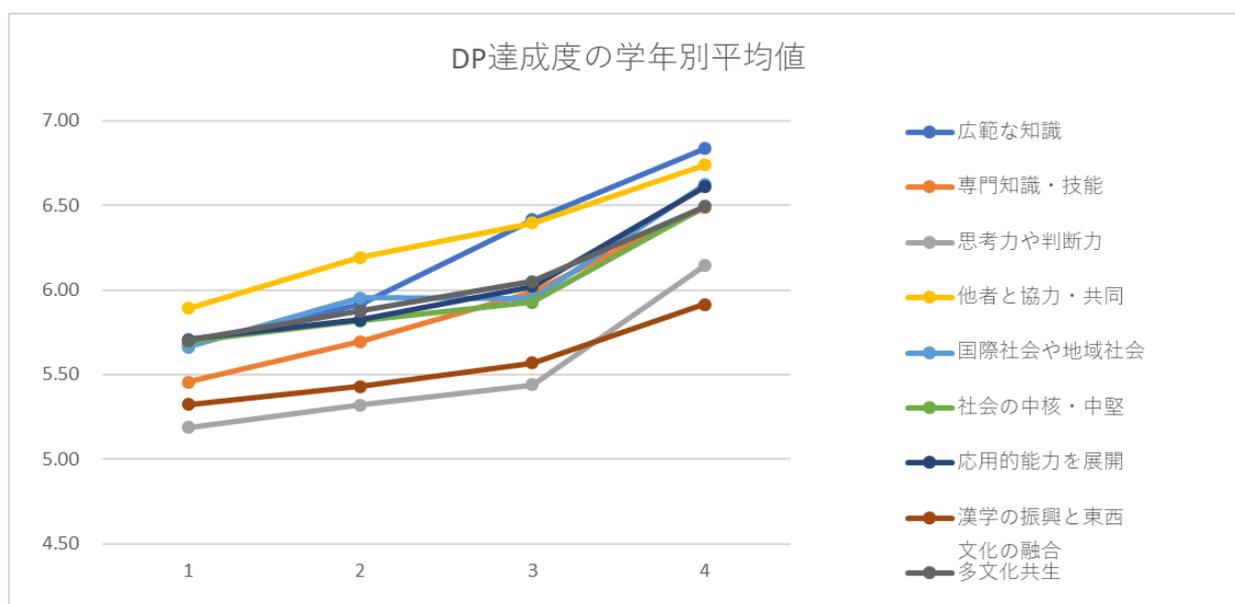
要約統計量	
平均	5.9253539
標準偏差	2.2113753
平均の標準誤差	0.0793326

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	336	5.70	2.15
2	184	5.88	2.13
3	139	6.05	2.32
4	118	6.49	2.25

以上の DP 達成度の平均値学年推移を一つの表、グラフにまとめて表示すると以下のようなになる。

	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
	広 範 な 知 識	専 門 知 識 ・ 技 能	思 考 力 や 判 断 力	他 者 と 協 力 ・ 共 同	国 際 社 会 や 地 域 社 会	社 会 の 中 核 ・ 中 堅	応 用 的 能 力 を 展 開	文 化 の 融 合 と 東 西	漢 学 の 振 興 と 東 西	多 文 化 共 生
学年										
1	5.68	5.46	5.19	5.89	5.66	5.69	5.71	5.32	5.70	
2	5.92	5.70	5.32	6.19	5.95	5.82	5.82	5.43	5.88	
3	6.42	5.99	5.44	6.40	5.95	5.93	6.02	5.57	6.05	
4	6.83	6.49	6.14	6.74	6.62	6.49	6.61	5.92	6.49	



DP別の自己認識による達成度はすべての項目で1年<2年<3年<4年、と数値が上がっていくことが確認できた。項目間では、「他者と協力・共同」の数値が最も高く、4年時には6.74に達している。一方、数値が低いのは「漢学の振興と東西文化の融合」と「思考力や判断力」である。いずれも授業によって直接働きかけることのできるはずの分野であるため、より一層の授業充実の必要性が示唆される。

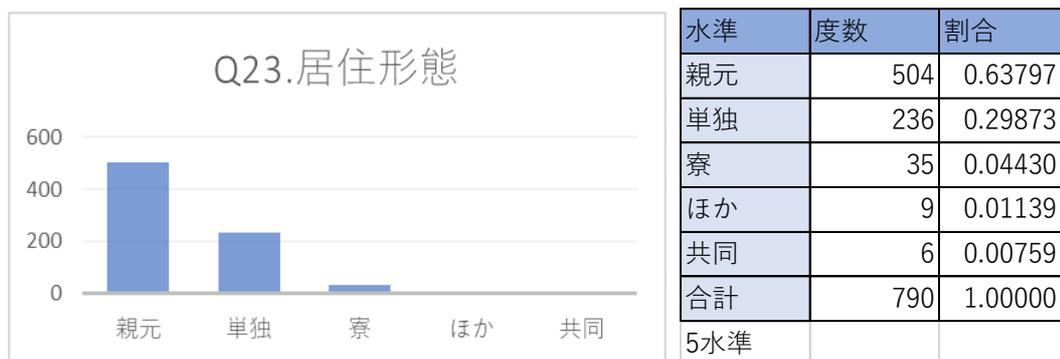
9. 生活・心身の悩み・経済状況など

このセクションでは、Q23～Q39 の、生活状況や悩みの有無、経済状況等に関する部分について結果を報告する。

【現在の生活状況】

Q23 今年度の居住形態はどれに当てはまりますか。最も期間が長いものを選んでください。

- ①親元で暮らしている [親元]
- ②ひとり暮らし [単独]
- ③学生寮・部活動の寮 [寮]
- ④ルームシェア・シェアハウス [共同]
- ⑤その他 [ほか]



学年	親元	単独	寮	ほか	共同
1	63.0%	31.2%	4.7%	1.2%	0.0%
2	66.8%	25.7%	5.9%	0.0%	1.6%
3	65.0%	28.6%	2.1%	2.9%	1.4%
4	60.0%	34.2%	4.2%	0.8%	0.8%

居住形態に関しては、約 64%が「親元で暮らしている」と答えた。このことから、昨年度までに引き続き本学において首都圏近郊からの進学・通学者が多いことがうかがえる。

Q24 通常時の主な通学手段は何ですか。最も利用時間が長いものを選んでください。

- ①電車 [電車]
- ②スクールバス（高坂／東武練馬～キャンパス） [高東]
- ③スクールバス（鴻巣便／久喜便） [鴻久]
- ④路線バス [路線]
- ⑤自動二輪・原付 [自二]
- ⑥自転車 [自転]
- ⑦徒歩 [徒歩]
- ⑧その他 [ほか]



水準	度数	割合
電車	513	0.65102
高東	144	0.18274
鴻久	51	0.06472
徒歩	23	0.02919
自転	22	0.02792
ほか	15	0.01904
路線	11	0.01396
自二	9	0.01142
合計	788	1.00000
8水準		

通学手段に関して、約 65%が「電車」と答えた。次いで約 18%が「スクールバス（高坂／東武練馬～キャンパス）」であり、キャンパスの最寄り駅周辺に居住している学生の利用がうかがえる。また、約 6%が「スクールバス（鴻巣便／久喜便）」であり、このことから埼玉県東部地域居住学生の通学手段の需要が一定数あることが見てとれる。

Q25 通常時の通学所要時間(片道)はどの程度ですか。

- ①30分未満
- ②30分～1時間未満
- ③1時間～1時間30分未満
- ④1時間30分～2時間未満
- ⑤2時間以上



水準	度数	割合
1	173	0.21816
2	177	0.22320
3	225	0.28373
4	143	0.18033
5	75	0.09458
合計	793	1.00000
5水準		

最頻値は3（1時間～1時間30分未満）で、約28%を占める。3と4と5（通学所要時間が1時間以上）の合計の割合が約56%であり、Q23において約64%が「親元で暮らしている」と回答していることから通学時間の長さとの関連が見てとれる。この傾向は2021年度、2022年度も確認された。

【取り組んでいること・課外活動】

Q26 現在、特に力を入れて取り組んでいることは何ですか。（主なものを2つまで）

- | | |
|----------------------------|----------|
| ①学部学科の勉強 | [学部] |
| ②資格試験の勉強 | [資格] |
| ③その他の勉強 | [他勉強] |
| ④部活動・サークル活動 | [部サ] |
| ⑤上記④以外の学生自治会の活動 | [他自治会] |
| ⑥そのほかの団体・委員会等大学内のコミュニティの活動 | [他学内] |
| ⑦ボランティア活動 | [ボランティア] |
| ⑧アルバイト | [バイト] |
| ⑨学外のコミュニティ等の活動 | [学外] |
| ⑩趣味の活動 | [趣味] |
| ⑪就職活動・インターンシップ | [就活] |
| ⑫上記以外 | [ほか] |
| ⑬とくに何にも力を入れていない | [なし] |



水準	度数	割合
学部	304	0.23493
バイト	270	0.20866
資格	189	0.14606
趣味	173	0.13369
就活	109	0.08423
部サ	101	0.07805
他勉強	42	0.03246
なし	37	0.02859
学外	20	0.01546
ほか	14	0.01082
他自治会	13	0.01005
ボランティア	12	0.00927
他学内	10	0.00773
合計	1294	1.00000
13水準		

全学では、最頻値は「学部」（学部学科の勉強）で、約 23%を占め、次いで「バイト」（アルバイト）が約 21%であり、約半数の割合が勉強とアルバイトに注力していることがわかる。次に学年別の分布を示す。

学年	学部	バイト	資格	趣味	部サ	なし	他勉強	学外	他自治会	ボランティア	他学内	就活	ほか
1	30.4%	23.7%	14.8%	13.1%	8.9%	2.6%	1.7%	1.4%	1.0%	0.7%	0.7%	0.5%	0.3%
2	27.0%	22.0%	18.2%	12.6%	7.9%	1.3%	2.5%	1.3%	1.9%	0.9%	0.9%	2.5%	0.9%
3	12.4%	16.2%	10.7%	8.5%	6.0%	2.1%	3.4%	1.3%	0.4%	1.3%	0.9%	35.5%	1.3%
4	8.9%	15.4%	12.4%	22.5%	6.5%	7.7%	9.5%	3.0%	0.0%	1.2%	0.6%	8.9%	3.6%

学年別には、「学部」（学部学科の勉強）と「バイト」（アルバイト）の割合が最も高いのは1年生である。一方で最も低いのは4年生であった。学年の順序では4年<3年<2年<1年であり、進級するほど「学部」（学部学科の勉強）と「バイト」（アルバイト）の割合が減少していることがわかる。なお、「就活」（就職活動・インターンシップ）が最も高いのは3年生で、「趣味」（趣味の活動）や「他勉強」（その他の勉強）が最も高いのは4年生である。

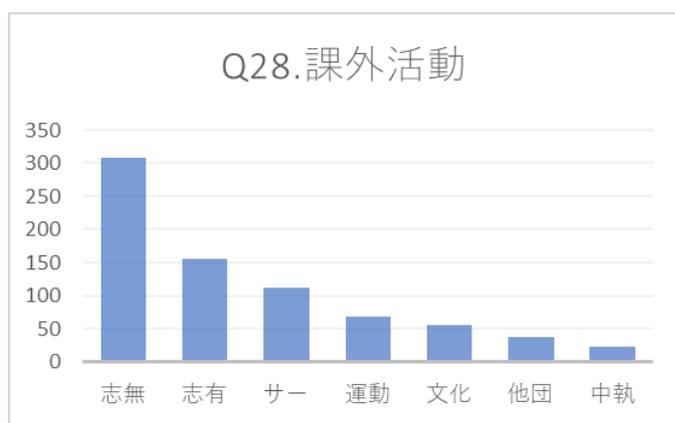
Q27 Q26で「⑫上記以外」を選んだ方は、その内容について教えてください。（自由記述）

Q26で「⑫上記以外」を選んだ学生は14名おり、そのうち13名がQ27に実質的なコメントを書いていた。大まかに分類すると、卒業後の進路に関連すること（就職・進学のための準備等）が4件、自己研鑽に関連すること（資格学習、学部学科以外の学習等）が3件、大学に関連すること（留学、ゼミ活動等）が3件、その他が3件であった。自らのスキルアップに励んでいる趣旨のコメントが多かった。

Q28 現在、学内の課外活動団体等(部活動・サークル活動・委員会活動等)に所属していますか。主に活動しているものを選んでください。引退した方は「所属している」ものとしてお答えください。

※組織：文化団体連合会・体育連合会・大東祭実行委員会・放送協会・全學應援團

- ①中央執行委員会・組織※・機関に所属している [中執]
- ②運動部に所属している [運動]
- ③文化部に所属している [文化]
- ④サークルに所属している（公認・非公認問わず） [サー]
- ⑤そのほかの団体・委員会等大学内のコミュニティに所属している [他団]
- ⑥所属する意志はあるが、所属していない [志有]
- ⑦所属する意志がなく、所属していない [志無]

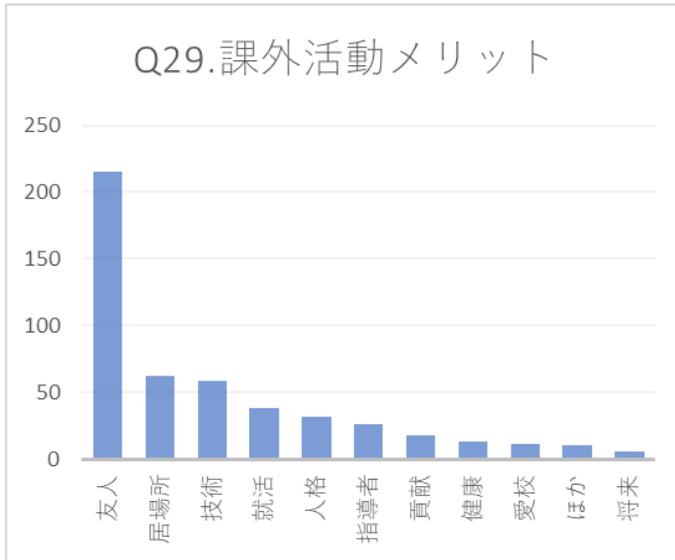


水準	度数	割合
志無	309	0.40604
志有	155	0.20368
サー	112	0.14717
運動	69	0.09067
文化	56	0.07359
他団	38	0.04993
中執	22	0.02891
合計	761	1.00000
7水準		

最頻値は、「志無」(所属する意志がなく、所属していない)が約41%で、次いで「志有」(所属する意志はあるが、所属していない)が約20%だった。合計すると、約61%の割合で課外活動に参加していないことが見てとれる。コロナ禍による活動の制限が前年度と比較して緩和された2022年度以降も、課外活動に参加していないとの回答が依然として高率になっていることには注意したい。

Q29 Q28で①～⑤を選んだ方は、課外活動で良かったと思うことを教えてください。(主なものを2つまで)

- ①よい指導者に出会えた [指導者]
- ②友人を得た [友人]
- ③居場所・帰属感を得た [居場所]
- ④愛校心を持つことができた [愛校]
- ⑤技術や知識の向上に役立った [技術]
- ⑥社会貢献ができた [貢献]
- ⑦人格形成に役立った [人格]
- ⑧健康増進に役立った [健康]
- ⑨将来の夢が持てた [将来]
- ⑩就職活動に役立った(役立ちそう) [就活]
- ⑪その他 [ほか]

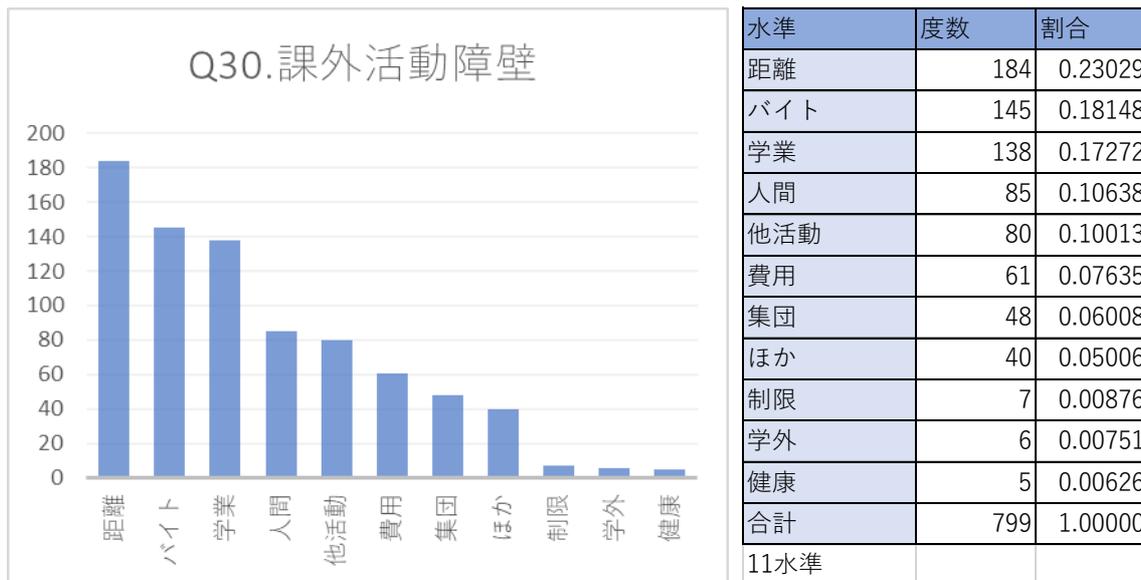


水準	度数	割合
友人	215	0.43878
居場所	62	0.12653
技術	59	0.12041
就活	38	0.07755
人格	32	0.06531
指導者	26	0.05306
貢献	18	0.03673
健康	13	0.02653
愛校	11	0.02245
ほか	10	0.02041
将来	6	0.01224
合計	490	1.00000
11水準		

最も頻度が高いのは、昨年度と同様「友人」（友人を得た）である。上の表で「割合」とあるのは、すべての回答を 1.00 としたときの割合であるが、この項目に回答した人数は 306 人であり、回答した人数に対する割合で見ると、回答者の約 70% が「友人」（友人を得た）を挙げていたことがわかる。このことから、共通の課外活動を通じた交友関係の構築に利点を感じた学生の割合が高かったことがうかがえる。

Q30 Q28 で⑥～⑦を選んだ方は、課外活動を行うことや、団体への入部や参加を考えるうえで障壁になること、抵抗を感じることは何ですか。（主なものを 2 つまで）

- ①通学距離との関係 [距離]
- ②学業との両立 [学業]
- ③アルバイトとの両立 [バイト]
- ④人間関係 [人間]
- ⑤集団生活に拘束されること [集団]
- ⑥費用がかかる [費用]
- ⑦怪我や健康面 [健康]
- ⑧学外の団体の方がいい [学外]
- ⑨ほかにやりたいことがある [他活動]
- ⑩入部制限がある [制限]
- ⑪その他 [ほか]



最も頻度が高いのは「距離」（通学距離との関係）である。この項目に回答した人数は 494 人であり、回答した人数に対する割合で見ると、約 37%が「距離」（通学距離との関係）を挙げていることがわかる。次いで、「バイト」（アルバイトとの両立）が約 29%、「学業」（学業との両立）が約 28%と続いている。この傾向は昨年度から引き続き確認でき、自身の学生生活と両立することに障壁を感じて課外活動に参加できない学生が多いことがうかがえる。

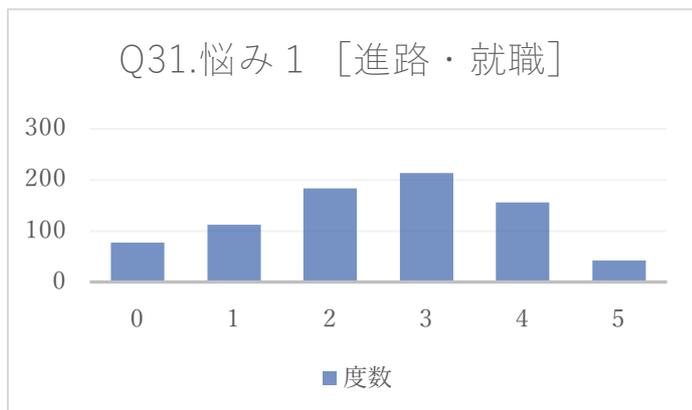
【不安・悩み】

Q31 次のそれぞれの事項に対する不安や悩みはどの程度ですか。0(不安なし)～5(耐え難いほど)の 6 段階で選んでください。

0 (不安なし) 1 (少し) 2 (多少) 3 (かなり) 4 (非常に) 5 (耐え難いほど)

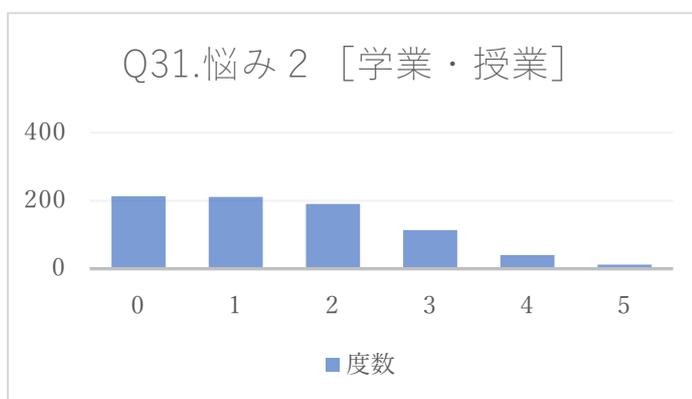
- ①進路・就職
- ②学業・授業
- ③留学
- ④心身の健康
- ⑤アルバイト先での問題
- ⑥経済的問題
- ⑦対人・友人関係
- ⑧課外活動
- ⑨家族関係
- ⑩性の悩み
- ⑪恋愛の悩み
- ⑫性格・能力
- ⑬人生観
- ⑭ハラスメント

<進路・就職>



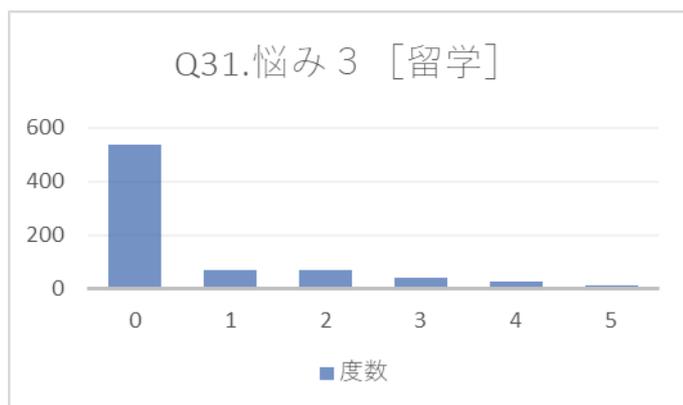
水準	度数	割合
0	77	0.09821
1	112	0.14286
2	183	0.23342
3	214	0.27296
4	156	0.19898
5	42	0.05357
合計	784	1.00000
6水準		

<学業・授業>



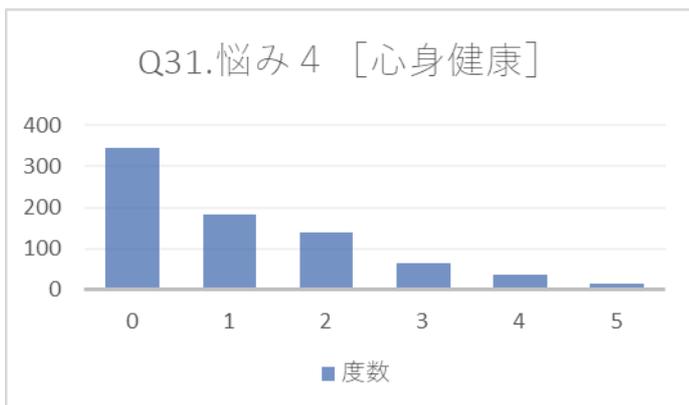
水準	度数	割合
0	214	0.27366
1	212	0.27110
2	190	0.24297
3	113	0.14450
4	41	0.05243
5	12	0.01535
合計	782	1.00000
6水準		

<留学>



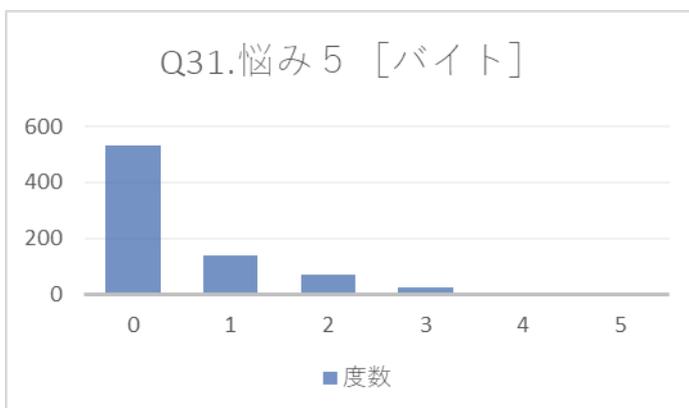
水準	度数	割合
0	537	0.70565
1	72	0.09461
2	71	0.09330
3	43	0.05650
4	26	0.03417
5	12	0.01577
合計	761	1.00000
6水準		

<心身の健康>



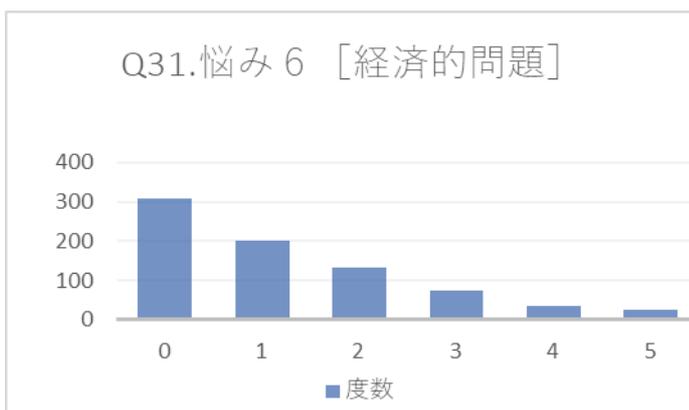
水準	度数	割合
0	345	0.44174
1	183	0.23431
2	139	0.17798
3	64	0.08195
4	37	0.04738
5	13	0.01665
合計	781	1.00000
6水準		

<アルバイト先での問題>



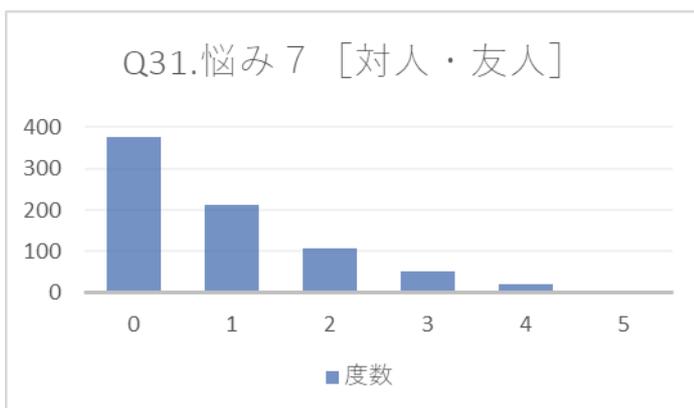
水準	度数	割合
0	530	0.68387
1	138	0.17806
2	70	0.09032
3	24	0.03097
4	6	0.00774
5	7	0.00903
合計	775	1.00000
6水準		

<経済的問題>



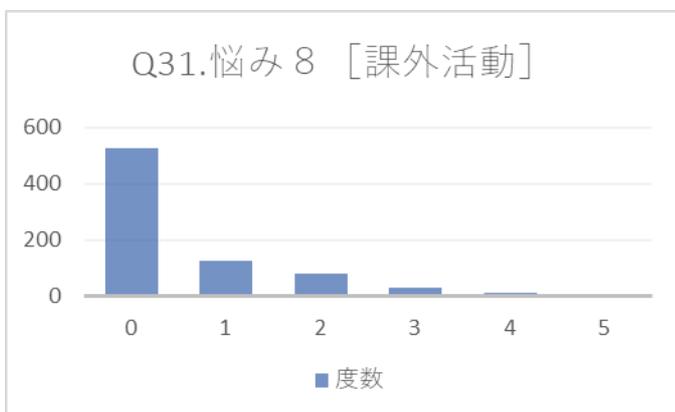
水準	度数	割合
0	308	0.39640
1	200	0.25740
2	134	0.17246
3	76	0.09781
4	34	0.04376
5	25	0.03218
合計	777	1.00000
6水準		

<対人・友人関係>



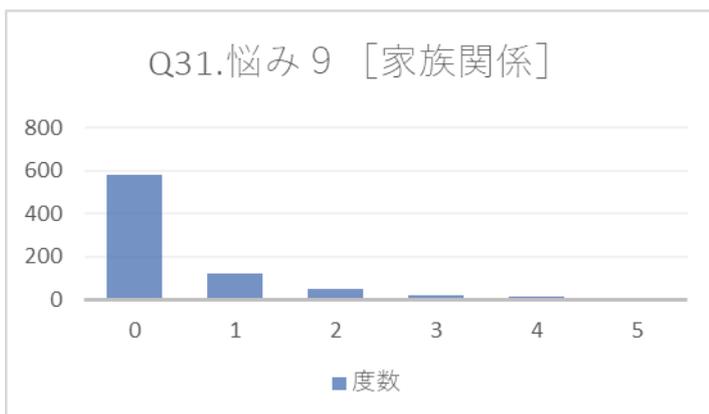
水準	度数	割合
0	375	0.48263
1	214	0.27542
2	108	0.13900
3	51	0.06564
4	22	0.02831
5	7	0.00901
合計	777	1.00000
6水準		

<課外活動>



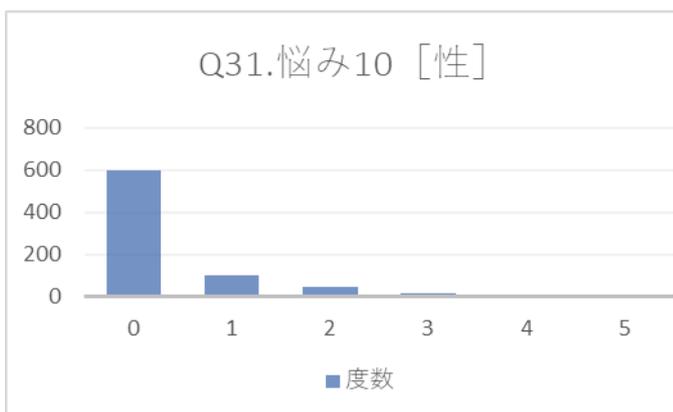
水準	度数	割合
0	525	0.67917
1	127	0.16429
2	81	0.10479
3	28	0.03622
4	10	0.01294
5	2	0.00259
合計	773	1.00000
6水準		

<家族関係>



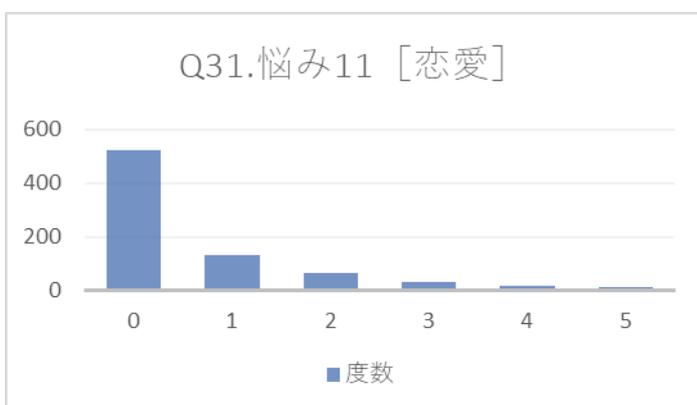
水準	度数	割合
0	577	0.74165
1	120	0.15424
2	47	0.06041
3	17	0.02185
4	14	0.01799
5	3	0.00386
合計	778	1.00000
6水準		

<性の悩み>



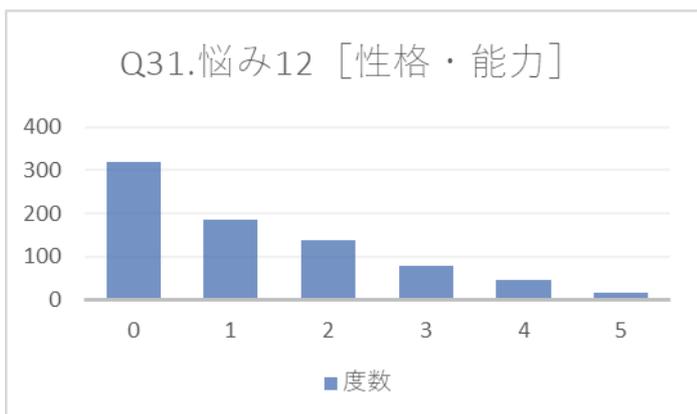
水準	度数	割合
0	599	0.76697
1	103	0.13188
2	46	0.05890
3	16	0.02049
4	8	0.01024
5	9	0.01152
合計	781	1.00000
6水準		

<恋愛の悩み>



水準	度数	割合
0	523	0.67224
1	129	0.16581
2	63	0.08098
3	33	0.04242
4	16	0.02057
5	14	0.01799
合計	778	1.00000
6水準		

<性格・能力>



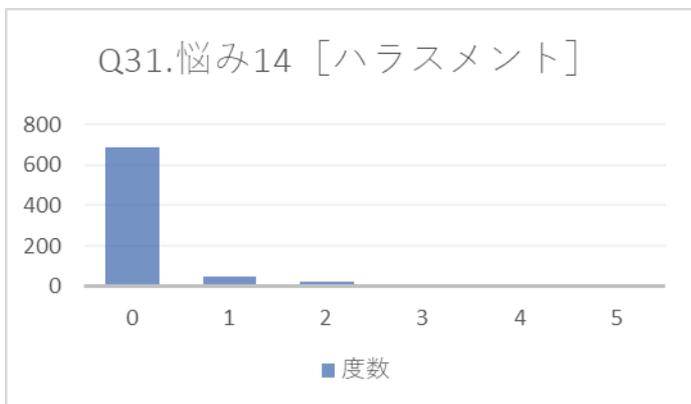
水準	度数	割合
0	318	0.40874
1	185	0.23779
2	138	0.17738
3	78	0.10026
4	44	0.05656
5	15	0.01928
合計	778	1.00000
6水準		

<人生観>



水準	度数	割合
0	361	0.46341
1	171	0.21951
2	123	0.15789
3	64	0.08216
4	46	0.05905
5	14	0.01797
合計	779	1.00000
6水準		

<ハラスメント>



水準	度数	割合
0	687	0.88645
1	48	0.06194
2	21	0.02710
3	6	0.00774
4	9	0.01161
5	4	0.00516
合計	775	1.00000
6水準		

<平均値と標準偏差の一覧>

		人数	平均	標準偏差	平均の標準誤差
悩み1	[進路・就職]	784	2.49	1.36	0.05
悩み2	[学業・授業]	782	1.48	1.26	0.05
悩み3	[留学]	761	0.67	1.21	0.04
悩み4	[心身健康]	781	1.11	1.28	0.05
悩み5	[バイト]	775	0.53	0.94	0.03
悩み6	[経済的問題]	777	1.23	1.35	0.05
悩み7	[対人・友人]	777	0.91	1.13	0.04
悩み8	[課外活動]	773	0.55	0.94	0.03
悩み9	[家族関係]	778	0.43	0.89	0.03
悩み10	[性]	781	0.41	0.91	0.03
悩み11	[恋愛]	778	0.63	1.12	0.04
悩み12	[性格・能力]	778	1.22	1.33	0.05
悩み13	[人生観]	779	1.11	1.33	0.05
悩み14	[ハラスメント]	775	0.21	0.71	0.03

参考：2022 年度

		人数	平均	標準偏差	平均の標準誤差
悩み1	[進路・就職]	960	2.76	1.35	0.04
悩み2	[学業・授業]	959	1.58	1.33	0.04
悩み3	[留学]	933	0.68	1.24	0.04
悩み4	[心身健康]	959	1.13	1.32	0.04
悩み5	[バイト]	942	0.57	1.02	0.03
悩み6	[経済的問題]	957	1.36	1.36	0.04
悩み7	[対人・友人]	958	1.08	1.28	0.04
悩み8	[課外活動]	941	0.59	1.02	0.03
悩み9	[家族関係]	954	0.49	1.02	0.03
悩み10	[性]	951	0.40	0.94	0.03
悩み11	[恋愛]	953	0.64	1.16	0.04
悩み12	[性格・能力]	954	1.36	1.43	0.05
悩み13	[人生観]	955	1.28	1.44	0.05
悩み14	[ハラスメント]	945	0.17	0.63	0.02

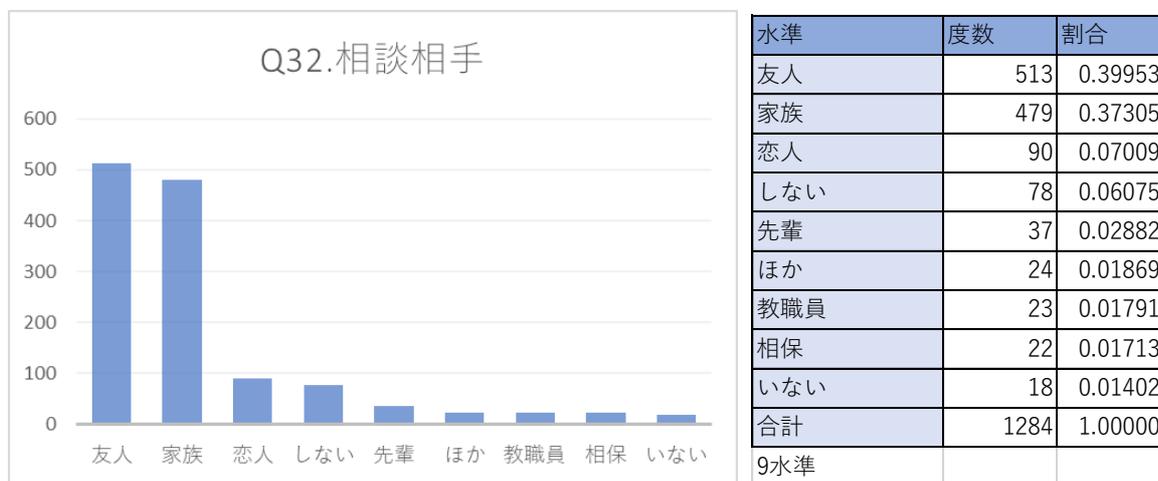
参考：2021 年度

	平均	標準偏差
Q30. 悩み1 [進路・就職]	2.99	1.35
Q30. 悩み2 [学業・授業]	1.90	1.39
Q30. 悩み3 [留学]	0.73	1.25
Q30. 悩み4 [心身健康]	1.22	1.39
Q30. 悩み5 [バイト]	0.58	1.02
Q30. 悩み6 [経済的問題]	1.43	1.44
Q30. 悩み7 [対人・友人]	1.12	1.30
Q30. 悩み8 [課外活動]	0.72	1.15
Q30. 悩み9 [家族関係]	0.48	0.98
Q30. 悩み10 [性]	0.46	1.00
Q30. 悩み11 [恋愛]	0.66	1.13
Q30. 悩み12 [性格・能力]	1.42	1.44
Q30. 悩み13 [人生観]	1.35	1.47
Q30. 悩み14 [ハラスメント]	0.20	0.63

昨年度までと同様、「進路・就職」の平均値が格段に高い。かなり差はあるが次は「学業・授業」、「経済的問題」、「性格・能力」、「心身の健康」そして「人生観」と続き、ここまでが平均値 1.0 以上である。その他の項目の平均値は 1.0 未満ではあるが、平均値は低くても、ヒストグラムに示したように、すべての項目において 5（耐え難いほど）と回答している学生が存在していることはきちんと認識しなければならない。学生支援センターでは HP に「困った時/ヘルプが欲しい時」というページを設け (<https://www.daito.ac.jp/campuslife/help/>)、さまざまなチャンネルを通じて学生の支援を試みているが、そのようなチャンネルについてより一層の周知を試みたいと考える。

Q32 不安や悩みを相談している相手は誰ですか(主な相手を 2 つまで)

- ①家族 [家族]
- ②友人 [友人]
- ③恋人 [恋人]
- ④先輩 [先輩]
- ⑤大学の教職員 [教職員]
- ⑥学生相談室・保健室 [相保]
- ⑦相談できるひとがいない [いない]
- ⑧他人には相談しない [しない]
- ⑨その他 [ほか]



相談相手として「友人」が約 40%、「家族」が約 37%と圧倒的に割合が大きい。一方で「教職員」（大学の教職員）と「相保」（学生相談室・保健室）については約 2%程度に留まっている。この結果をみると、学生の相談がしやすい仕組みづくりに関して、より検討していく必要があると考えられる。

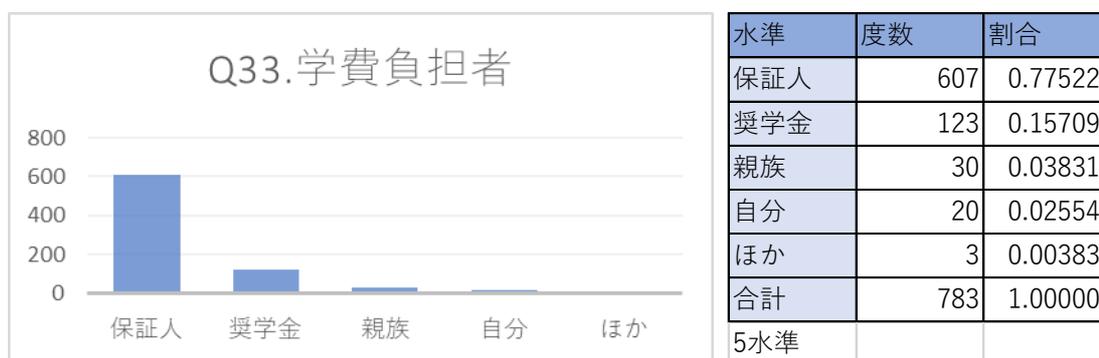
学年	友人	家族	しない	恋人	先輩	相保	いない	ほか	教職員
1	40.7%	37.7%	6.7%	5.3%	4.4%	1.6%	1.3%	1.3%	1.1%
2	42.1%	38.5%	5.5%	7.8%	1.0%	1.0%	1.9%	1.3%	1.0%
3	39.5%	38.2%	4.3%	6.9%	3.4%	1.7%	1.3%	3.0%	1.7%
4	35.1%	33.0%	7.3%	11.0%	1.0%	3.1%	1.0%	3.1%	5.2%

「友人」と「家族」の割合については、学年別にみても特段の違いは認められない。しかし、「相保」（学生相談室・保健室）と「教職員」（大学の教職員）については、3・4年生に比べて1・2年生の割合が低いことが指摘できる。

【経済状態・アルバイト】

Q33 学費の金額を最も多く負担しているのは次のどれですか。

- ①保証人（親など） [保証人]
- ②自分 [自分]
- ③奨学金 [奨学金]
- ④祖父母等親族 [親族]
- ⑤その他 [ほか]



最頻値は「保証人」（保証人（親など））で約78%であった。次いで「奨学金」が約16%と続き、合計して約94%を占めている。一方で昨年度と同様に全体の約3%が「自分」であり、学費を自身で支弁している学生がいることがわかる。

Q34 現在の家庭の経済状況はいかがですか。

- ①余裕がある
- ②やや余裕がある
- ③普通
- ④やや苦しい
- ⑤苦しい
- ⑥不明

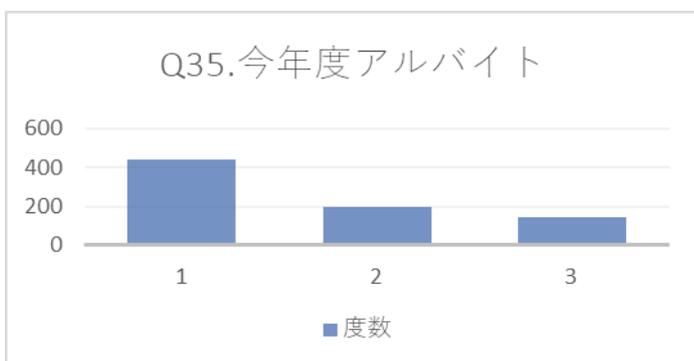


水準	度数	割合
1	74	0.09391
2	60	0.07614
3	391	0.49619
4	154	0.19543
5	66	0.08376
6	43	0.05457
合計	788	1.00000
6水準		

最頻値は3（普通）で約50%である。また、4（やや苦しい）と5（苦しい）をあわせると約28%が経済状況について苦しいと回答していることがわかる。なお、昨年度は、3（普通）は約45%、4（やや苦しい）と5（苦しい）はあわせて約35%であった。コロナ禍が明けたことが影響しているのかもしれない。

Q35 今年度のアルバイトについて選んでください。

- ①常時している／いた
- ②時々している／いた
- ③していない

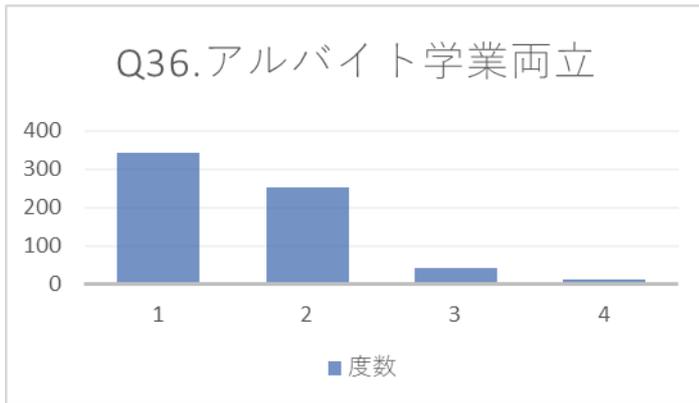


水準	度数	割合
1	439	0.56066
2	197	0.25160
3	147	0.18774
合計	783	1.00000
3水準		

最頻値は1（常時している／いた）で約56%であった。

Q 36 Q35 で①～②を選んだ方は、アルバイトと学業の両立はできていますか。

- ①できている
- ②ある程度できている
- ③あまりできていない
- ④まったくできていない



水準	度数	割合
1	343	0.53096
2	251	0.38854
3	41	0.06347
4	11	0.01703
合計	646	1.00000
4水準		

1（できている）と2（ある程度できている）を合わせると、約92%の学生はアルバイトと学業の両立ができていることが見てとれる。ただし一方で3（あまりできていない）と4（まったくできていない）の割合を合わせると、約8%の学生がアルバイトによって学業に支障をきたしていることがわかる。奨学金などの支援制度の利用促進や、金銭面を理由とした修学継続に関する悩み相談がしやすい仕組みづくりが重要だといえよう。

【休学・退学】

Q37 休学や退学を考えたことがありますか

- ①休学を考えたことがあるが退学を考えたことはない [休]
- ②退学を考えたことがあるが休学を考えたことはない [退]
- ③休学と退学の両方を考えたことがある [休と退]
- ④休学も退学も考えたことがない [ない]

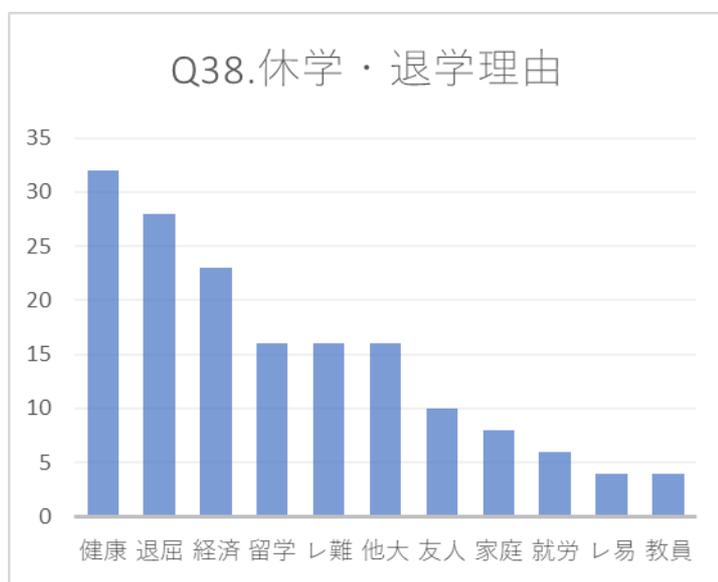


水準	度数	割合
ない	686	0.87056
休	45	0.05711
休と退	29	0.03680
退	28	0.03553
合計	788	1.00000
4水準		

最頻値は「ない」（休学も退学も考えたことがない）で約87%であった。一方で、昨年度（約15%）よりやや減少したものの、全体の約13%の学生が、休学や退学を考えたことがあるとわかる。

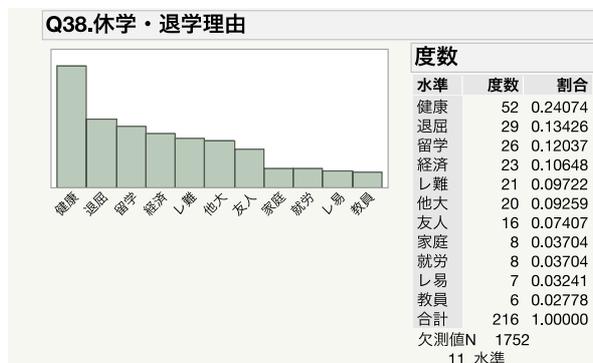
Q38 Q37で①～③を選んだ方は、その理由を教えてください(主なものを2つまで)

- ①授業が難しい／成績が振るわない等 [レ難]
- ②授業が易しすぎる／授業のレベルに不満である等 [レ易]
- ③授業に興味を持ってない／授業がつまらない等 [退屈]
- ④教員とうまくいかない等 [教員]
- ⑤大学で友人関係がうまくいかない等 [友人]
- ⑥経済的事情 [経済]
- ⑦家庭の事情 [家庭]
- ⑧心身の健康面 [健康]
- ⑨留学・ワーキングホリデーのため等 [留学]
- ⑩他大学への入学・入学 [他大]
- ⑪働きたい [就労]

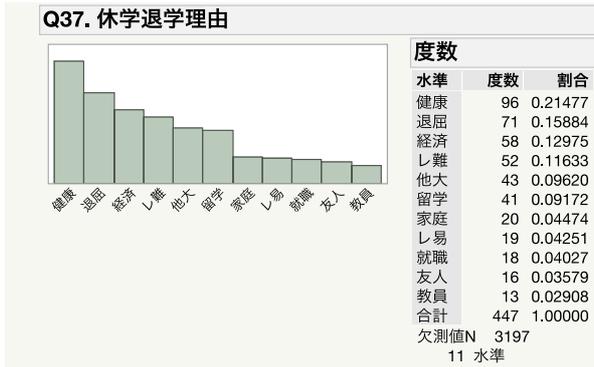


水準	度数	割合
健康	32	0.19632
退屈	28	0.17178
経済	23	0.14110
留学	16	0.09816
レ難	16	0.09816
他大	16	0.09816
友人	10	0.06135
家庭	8	0.04908
就労	6	0.03681
レ易	4	0.02454
教員	4	0.02454
合計	163	1.00000
11水準		

参考：2022 年度



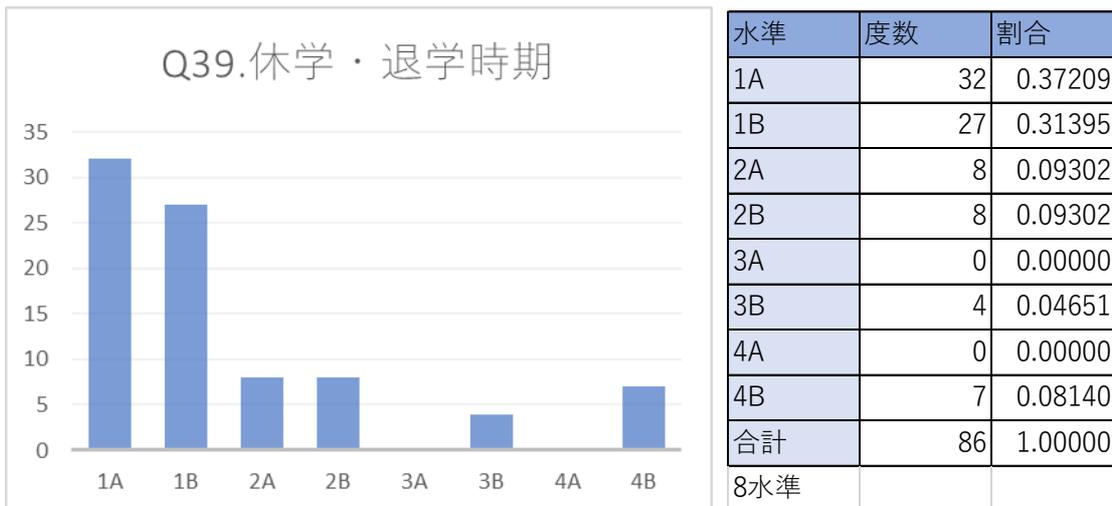
参考：2021 年度



Q37.において、休学や退学を考えたことがあると回答した学生は 102 人であり、回答した人数に対する割合を見てみると、「健康」（心身の健康面）が約 31%であった。次いで「退屈」（授業に興味を持ってない／授業がつまらない等）が約 27%と続いており、昨年度と同じ回答が高率になっている。

Q39 Q37 で①～③を選んだ方は、最初に考え始めた時期はいつ頃ですか。

- ① 1 年次前期（夏休みを含む） [1 A]
- ② 1 年次後期（春休みを含む） [1 B]
- ③ 2 年次前期（夏休みを含む） [2 A]
- ④ 2 年次後期（春休みを含む） [2 B]
- ⑤ 3 年次前期（夏休みを含む） [3 A]
- ⑥ 3 年次後期（春休みを含む） [3 B]
- ⑦ 4 年次前期（夏休みを含む） [4 A]
- ⑧ 4 年次後期（春休みを含む） [4 B]



1 年次の回答の割合が突出して高いことは昨年度も確認できた傾向であり、注意したい。

10. 本学への意見等 [自由記述]

このセクションでは、Q40（本学への意見等）に対する自由記述の結果を報告する。

Q40 本学への意見等、自由に書いてください。

「特にありません」に類するものが12件。それを除いて実質的なコメントを書いたものが167件あった。それらを1件毎に精査し、言及している内容で分類し帰納的にラベル（下位コード）を付与していった。1件の中で複数の内容に言及しているものは複数の下位コードを付与した。類似の内容はひとつの上位コードにまとめた。以下、コード毎に該当件数によって降順にソートして示す。

<全体的な分布>

▼ ●📁 コードシステム	314
> ●📁 施設/設備等について	132
> ●📁 授業について	44
> ●📁 学生へのサポートについて	30
●📁 大学に対する感謝等	22
> ●📁 大学全体の印象について	20
> ●📁 課外活動について	9
●📁 自身の決意・自身に対する戒め	9
●📁 学内システムへの不満・要望	5
●📁 留学について	4
> ●📁 立地について	4
●📁 特定の部局・教職員に係る不満の表明	4
> ●📁 学費・経済面について	4
> ●📁 アンケート調査について	4
●📁 証明書について	3
●📁 友人との関係について	3

昨年度に引き続き、全該当件数 314 のなかで施設／設備についての意見が最も多かった。次いで、授業について、学生へのサポートについての声が多かった。以下、それぞれの上位コードを展開した下位コードの分布を示す。

<施設／設備について>

> ●◎ 飲食物施設に関する不満・要望	27
> ●◎ スクールバスに関する不満・要望	24
●◎ 施設・設備を利用可能に・範囲・時間をより長く	22
●◎ Wi-Fi環境に関する不満・要望	15
●◎ 施設がよい・満足だ	4
●◎ 空調設備・気温調節に関する不満・要望	4
●◎ 体育施設に関する不満・要望	3
●◎ トイレの設備・備品に関する不満・要望	3
> ●◎ キャンパスの広さについて	2
●◎ 図書館について	3
●◎ 臭気・騒音・照度	2
●◎ 学生のマナーについて	2
●◎ 喫煙所に関する不満・要望	2
●◎ 害虫駆除について	2

飲食物施設に関する不満・要望が最も多く、メニューの内容、施設の混雑、値段に関するコメントが主に寄せられた。

■学食が高カロリーな物が多いので、ヘルシーかつボリュームミーな学食が欲しいです。

■人数が多すぎて昼飯を買うのが一苦勞でした。やってもらえると嬉しいこととして、キッチンカーを6号館側(4号館の橋を渡った方)にもあるともう少し買いやすくなると思います。

■もう少し学食が安くなると嬉しいです。

(原文ママ)

次いで多かったのは、スクールバスに関する意見である。特に、運行本数や混雑、運転手やスタッフの対応に関する声が多かった。また、今年度は、緑山キャンパス行きのバスを運行してほしいとの要望も多く見られた。

■ラッシュ時のスクールバスの本数及びキャパを増やしてください

■学バスの運転が荒い方がいらっしゃるので、もっと優しく運転してほしいです。いつも座れるとは限らないので、立っていると耐えるのが非常に辛いです。

■前回の行動/認識調査で、スクールバスに関して警備の方の態度など様々な意見があったようですが、それについて改善されている様子があまりないように感じます。もちろん学生側に非があるような場合も見受けられますが、怒鳴ったり運転が荒かったりというのは度々目にするため、その他の意見も含めて、多くの学生の意見がどれほど学校側に反映されているのか、少々疑問に感じました。

■緑山キャンパスまでの学バスが欲しい！！

(原文ママ)

続いて、施設／設備を新たに使用したい・充実させてほしいという要望が多かった。具体的な内容は以下の通りである。

▼ ●● 施設・設備を利用可能に・範囲・時間をより長く	21
●● フリースペース・自習室を充実させてほしい	4
●● 給水機・給湯器を設置してほしい	3
●● 駐車場を設置してほしい	2
●● 電子レンジの数を増やしてほしい	2
●● 雨や日差しを避ける屋根を設置してほしい	2
●● 電動キックボードや自転車のレンタルサービスを行ってほしい	1
●● PCの充電ができる場所がほしい	1

続いて多く見られたのは、Wi-Fi 環境が悪いという意見だった。

■Wi-Fi 環境についてですが、東松山校舎 7・8 号館は問題解決していますという旨の情報がありましたが、Wi-Fi が全然働いていないところもあります。多分使用人数やルーターからの距離の問題だと思うので、そこら辺も少し考慮いただけると助かります。

■学内の Wi-Fi の接続が悪く、携帯料金を増やしてまでわざわざ携帯のギガ数を増やした。

(原文ママ)

<授業について>

▼ ●● 授業について	0
●● 授業内容への不満・要望	9
●● 時間割・単位の設定に関する不満・要望	8
●● 教員に対する不満・要望	8
●● 評価への不満・要望	8
●● 諸々の決定・通知に関する不満・要望	5
●● 学生の受講態度が悪い	3
●● デジタル化について	2
●● 授業に満足している	1

授業については、授業内容への不満・要望の声が最も多かった。具体的なコメントを以下に挙げる。

■グループワークの授業がもっと多くなると良いと思った。

■受講する価値がない授業がいくつか存在します。コロナ禍で撮影した映像授業を流すだけ、低レベルな授業（中学校程度の内容しか取り扱わない）、休講があまりに多すぎる、などです。授業料に相応する有意義な授業を求めます。もちろん、素晴らしい教授もいらっしゃいます。

■書道学科に所属しているが、教員志望のため、一般教養の授業を取り入れて欲しい。教職の授業は、レベルに差があると感じるため、模擬授業などをやる授業は、もっとレベルを上げて欲しい。全体的に、授業のレベルを上げて欲しい。

■留学生と関わる授業や英会話をする授業を増やして欲しい

■オンライン講義を増やしてください

(原文ママ)

グループ活動等を伴う能動的な学びや、授業の難易度に関する要望が寄せられた。また、昨年度に引き続きオンラインの講義を増やしてほしいとの声もあった。

次いで、時間割・単位の設定・履修登録、教員、評価に対する不満・要望が多かった。具体的な記述を以下に示す。

■必修1単位がしんどいです。なんで1単位なんですか？

■法学部も他学部の講義を受講できるようにしてほしい

■履修登録をはじめにやる時に1年間全部登録するだけではなくて前期と後期別々に登録できるようにもなっていたきたいです。

■資格取得のために履修したかった興味があった科目が抽選で受けられなくなり、就職活動で地元に住まいを移すこともあり4年時に履修が不可能で受講することが出来なかった。決まったものが変更できないことに不満はないが、抽選の結果履修できた生徒の中に資格取得の為でもなく、興味もなく、単位の為だけに選んだだけと言っている生徒が居て複雑な気持ちになった。抽選時に資格取得予定者を優先したり、アンケートを取るなど工夫してほしい。学費を払って通っているのに、学びたいことを学べる環境を作ってほしい。

■キャンパス移動に伴う履修について、板橋校舎の全学共通科目がほとんど全く無い状況を改善してほしい。1.2年のうちに東松山校舎での講義を終わらせられるようきっちり分けようと、資格科目含めほぼ限界までの単位を取得したものの、先日3年次の履修を考えた際に学部系統以外に取れる講義があまりにも少なく組み込みに苦労した。

■教授はその分野の専門の方なので、その方が知ってて当たり前という内容を初めてその分野を扱う生徒に対してなんで知らないの？という少し高圧的な態度で来られても困ります。相手は初めて知るかもしれないという配慮をしていただけないでしょうか。

■ * * * 語を履修してるのですが * * * 語の先生がとても分かりづらい説明をするため授業が楽しくないし、覚えられないです。何とかしてください。

■講義終了数分前に来る生徒に対して注意のみのように見えるが、最初からいる人と同じ評価にされているのかと感じ少し意識が低下してしまった気がする。

■授業に対して意見を書かせていただきます。授業の難易度が先生によって違いすぎて、同じ必修なのにこのクラスは単位が取れるかどうか怪しいクラスと授業を受けていれば単位を取れるクラスが存在しています。しかもクラス指定なので取る授業を変えることもできません。せめて必修は同等のレベルで授業をするよう指導していただきたいです。

(原文ママ)

特に、評価に関しては、教員の判断や授業の難易度のばらつきにより、学生の努力や能力が正当に評価されていないのではないかという意見が多く寄せられた。

<学生へのサポートについて>

▼ ●🗨️ 学生へのサポートについて	0
> ●🗨️ 学生へのサポートに関する不満・要望	26
●🗨️ サポート・対応に満足している	4

サポート・対応に満足しているという声があった一方、不満・要望も見られた。具体的な記述を以下に示す。

■せっかく東京にある学芸員資格を取れる学校なので、東博などの博物館のキャンパスメンバーズに入りたいです。

■難関資格の取得する環境を作ってほしい

■大学のダブルスクールはとても良いと思います。宅建や簿記も学べて有意義な時間に来た。IT系の資格はもう1つ上のレベルも開講して欲しい。

■国際交流センターで留学の相談などをする際は予約が必要だったと思いますが、学生支援課のように、予約なしで気軽に相談できる環境だと良いなと思います。

■就職関連のイベント・サポートに関する情報が少なく感じた

■就活に強い不安があり、1年次の夏にキャリアセンターの個人面談を利用したが、「まだ一年だから」という理由で納得するサポートが得られなかった。低年次でも、就活に向けてもっと充実した個々へのサポートが受けられるようにしてほしい。

■PC室や図書館の対応がいつも親切で、助けられています。非常に感謝しています。

■携帯を失くした際、学生支援課の方が親身に対応してくださって、不安が和らぎました。結局帰りのバスで見つかりましたが、その対応はとても嬉しかったです。

(原文ママ)

資格取得や留学、就活に関する相談対応など、学生の活動が活発化しているからこそ生じる意見が多く寄せられたといえる。コメントを真摯に受け止め、対応しなければならないだろう。

<大学に対する感謝等>

大学やスタッフに対する感謝等のコメントが、昨年度までと比べ明らかに増加した。具体的な内容をいくつか引用する。

■朝に登校すると清掃員の方々がいつも念入りに掃除をしてくださっていて、この方々のおかげで快適に学生生活を送れているように思い、感謝の気持ちでいっぱいになります。

■高校生の時から日本語教師になりたくて、それで大東の日本語学科を選びました。無事日本語教師になれました。自分の進路に関係のある資格が取れて大学での学びに満足しています。先生方ご指導ありがとうございました。

■大東文化大学へ入学したことで、多くの経験ができました。また、人間関係にも恵まれ、充実した大学生活を送ることができました。ありがとうございました。

<大学全体の印象について>

▼ ●◎ 大学全体の印象について	0
●◎ 大学に満足だ・入学してよかった	15
●◎ 学力が高い学生が入学する大学であってほしい	2
●◎ 入学時に抱いていたイメージよりよい大学だった	1
●◎ 魅力を発信すべきだ	1
●◎ 本学は学歴に関する社会的評価が低い	1

大学全体に関わるコメントとしては、昨年度に引き続き、「入学して良かった」「充実していた」といった肯定的なコメントが多く見られた一方、「より学力が高い学生が入学する大学であってほしい」、「本学の社会的評価が低いことが不安」とのコメントも確認された。いわゆる「学歴フィルター」に不安や不満を感じている学生が一定数いると考えられる。

■次年度、4年生となりますが、これまで目立ったトラブルもなく、充実した大学生活を送れています。大学の授業のレベルも適しているものであり、それ以外のことにも熱中できる余裕があるので、大東文化大学に入学して本当に良かったと思っています。

■正直、第一志望ではなかったのですが、茶道の体験や留学など以前に経験したことのなかったことに触れることができ、感謝しています。大学生活の中で自分の打ち込めるものが見つかり、満足しています。

■教職員の方々が親身になって寄り添ってくださるとも素敵だと思います。また、自分自身が大東文化大学に所属できていることを誇りに感じています。母校愛を持って社会人としても精一杯頑張ります。

■東京のキャンパス拡張して、東京メインになって距離近い人が入って学力高い人が入りやすいところになってほしい。友達頭良いやつ多いけど、にがてなヤツほど常識とかが無い。

■正直な話、大東を第1志望にしている学生はほとんどいません。みんな受験落ちてます。だから、諦めてるんです。大東だから就職無理でしょって。入学当初そんな声をたくさん聞きました。学歴フィルターで落とされるし、就職はまだいっか。どうせ大東だし。そんな声を友達から聞く度悲しかったです。世間的にレベルが低く見られてしまうのは仕方ありません。だからといって、将来を諦めるのは違います。まだまだ若い私たちが自分の将来を諦めて、だらけてだらけて目先の幸福だけを追うからいつまで経っても大東の学生のレベルは変わらないんです。だからこそ、大東の学生でもやれるんだぞっていうことを世間に証明するために、私は頑張っていますし、これからも頑張ります。

(原文ママ)

<課外活動について>

▼ ●◎ 課外活動について	0
●◎ 課外活動へのサポートに関する不満・要望	6
●◎ イベントについて	2
●◎ 学外への情報発信について	1

課外活動については特に、大学によるサポートに関する不満・要望の声が多かった。

■サークル活動の広報に力を入れてほしかった。どのサークルがいつどこでやっているのか全くわからなかった。他の大学に比べてもかなり酷く感じた。

■自治会費増やして欲しい。

■来年の入学式のスケジュールに正式に団体発表を組み込んで欲しい。

■キャンパスが変わることもあり難しいとは思いますが、サークル活動をもっと活発にできるような取り組みをして欲しい。

(原文ママ)

<自身の決意・自身に対する戒め>

自分自身の決意表明としては、そのすべてが、気を引き締めて更に努力してゆきたい、といった前向きなものであった。

<学内システムについて>

BIND.note、DB manaba、DB ポータル等の学内システムに関する不満・要望があった。

■出席を全ての講義を bind で統一してほしかった

■バインドノートによる出席確認の際、人数が多い授業ではきちんと登録できないなどの不備が多々ありました。出席日数も成績に関わる場合があるため、改善してほしいです。もしくは、バインドノートに頼らない出席確認に統一してもらえないでしょうか？

■manaba のサーバーを大きくしてください

■マナバのレスポンの機能で出席確認をする先生がいらっしゃいましたが、レスポンの不備はほとんどなかったようなので、レスポんに統一したらどうでしょうか。ただし、マナバ1本になるとアクセスが集中してログインするのに時間がかかってしまうため、結局不備が出てくるのだと思います。そうすると、アナログな方法が一番確実で一番手っ取り早いと思います。

■DB ポータルからの連絡がとてもわかりにくく、重要なメッセージが届いていても気づかないことがあったので、改善していただきたい。

(原文ママ)

<留学について>

留学に関するコメントを引用する。

■奨学金留学制度を初めとする留学制度が他大学よりも整っているところはとても良かった。

(原文ママ)

<立地について>

立地に関する意見も寄せられた。内容は以下の通りである。

▼ ●◎立地について	0
●◎ 4年間同じキャンパスに通学したい	1
●◎ 自宅から遠い	1
●◎ 東武東上線の急行や準急が大学最寄り駅に停車しない	1
●◎ 東松山キャンパスより板橋キャンパスのほうが望ましい	1

<特定の部局・教職員に係る不満の表明>

特定の部局や教職員に関するコメントについては、該当部局がわかる場合には必要に応じて伝達したうえで対応の必要性の有無の判断を仰ぎたい。

<学費・経済面について>

▼ ●◎学費・経済面について	2
●◎ 奨学金制度に満足している	1
●◎ 家計基準が厳しい	1

学費・経済面に関して、昨年度と同様、「奨学金制度に満足している」という意見と、「奨学金の家計基準が厳しい」という意見があった。その他、徴収した学費を適切に使用してほしいとの声もあった。

■今年度は、創立100周年とのことで様々な取り組みがなされていたかと思います。私自身、100周年の飾り付けやグッズが出たことを本当に嬉しく思いました。しかし、それよりも先にWi-Fiの環境の改善や机・椅子の更新など学内の学習環境が改善がなされるとより嬉しかったです。私は高い学費を払っています。特に私の代(現4年生)は1年から2年の間、在宅で授業となり学校に行くことができませんでした。財源等の詳しいことはわかりませんが、100周年をお祝いすることも大事だと重々承知ですが、もっと学内に目を向けて環境の改善がされると良いのではないかと思います。

■100周年記念の水の販売など無駄なところにお金をかけず、授業で生徒の知見が増えるよう予算を割いてほしいです。

(原文ママ)

<証明書について>

2023年11月に証明書発行機の入替えを行ったことを踏まえたコメントや、証明書のデータ化に関するコメントが寄せられた。また、学割証に関する意見も見られた。

■証明書自動発行機(またはその代わりになるもの)を学内に再設置して頂けないでしょうか。実際に、昨年(学校の自動発行機が撤廃される以前)に就職活動をした経験から、自動発行機の廃止は就活生にとってかなりの負担になるのではないかと思います。理由は以下の通りです。・厳封する書類だと、コンビニ発行が利用できず、毎回の申請が必要。手間と時間がかかる。・郵送だと発行に時間がかかってしまい、急遽必要になったとき(締め切り直前で応募を決めた際など)に間に合わず、諦めざるを得ない状況になってしまうことが考えられる。・学校で発行可能であれば200円で済むところが、コンビニや郵送だと手数料や印刷代、郵送代が上乘せされてしまう。交通費、筆記試験の為の書籍代、消耗品である靴やストッキング代など、出費が多い就活生の負担になる。これから就職活動を行う学生の為にも、負担が少なく証明書が発行できるような環境を整えて頂きたいです。

■証明書をデータで発行しなかった際にデータで発行できず、一度紙に印刷してからスキャナーをかけてデータ化するという二度手間が発生して面倒でした。就職活動の際のESや必要書類をweb上で提出することも普通になっているため、データのまま受け取れるようなデジタル化を進めてほしいです。

■学割証の発行枚数をもっと増やした方がいいと思います。地方から来ている学生もいるので年間10枚は正直いって少なすぎます。4年生は就職活動で地元に戻ることもあると思うのでもっと多く発行できないと金銭的に辛いです。私はこの事を入学してから毎年訴えているのですが何も変わらなかったのもう少し学生の声を汲み取って欲しいです。

(原文ママ)

<友人との関係について>

他の学生との交流の機会がほしい、コロナの影響で友人が少ないとのコメントが寄せられた。

■学生同士の交流がしづらい。

■意見というより、大学への今後の提案で述べさせていただきます。大学で1年から参加できる就活コミュニティを作ってください。

■コロナがなければもっと友人ができたと思うので少し悔しい

(原文ママ)

<アンケート調査について>

本調査について、回答が大学に届いていないのではないかという不安・不満や、設問数が多く負担になっているとのコメントが寄せられた。真摯に受け止め、改善に努めたい。特に前者については、学生の大学に対する信頼に関わる指摘であり、意見の吸い上げに関する要望とも関連して注意が必要だろう。本アンケートの結果について、可能な限り学生の声が反映される方向で働きかけてゆきたい。

以上